



取付説明書

本書は取付け作業前・ご使用前に必ずお読みください。

取付けは必ず専門業者に依頼してください。

お読みになった後は、大切に保管してください。

本製品は、下記に示す車両のみ取付け可能です。

万が一お車と本製品の型式等が異なる場合には、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください。

商 品 名	GT2スーパーチャージャーシステム プロキット
用 途	自動車専用部品
コ ー ド No.	12001-AH010
取付説明書品番	E04215-H44053-00 Ver. 3-3.04
メーカー車種	ホンダ S2000 (AP1/AP2) ※タイプV未確認 ※USA ワイヤースロットル仕様車両未確認
エンジン型式	F20C/F22C
対 応 年 式	JPN 1999/4~2007/9 USA 06~09 モデル



備 考

※燃料は必ずハイオクを使用してください。

- ・ USA ワイヤスロットル仕様車両(～' 05 モデル)は、本キットの取付け確認を行っておりません。その為、本書に記載していない純正部品の加工・キット部品の加工が必要になる場合があります。
- ・ 本製品を使用時のエンジン及び補機類等の破損については一切保証を致しません。
- ・ 走行時には水温、油温等の管理をしてください。

○本製品は、HKS GT2スーパーチャージャー本体保証（以下 本体保証）が適用されます。

○本製品は、下記指定部品との組合せで使用してください。

- ・ 指定部品以外の部品を使用した場合にはエンジンが破損する場合があります。

プロキット指 定 部 品

スパークプラグ	HKS スーパーファイヤーレーシング M45i 以上
エンジンオイル	HKS エンジンオイルシリーズ高温粘度 40 以上

プロキット推 奨 部 品

エキゾースト マニホールド	純正または HKS ステンレスエキゾーストマニホールド (HKS ステンレスエキゾーストマニホールドを取付ける場合、遮熱対策が必要です。)
触媒	純正または HKS メタルキャタライザー
マフラー	純正または HKS スーパーサウンドマスターまたは HKS サイレントハイパワー
燃料強化パーツ	HKS Fuel Upgrade Kit for GTSC※JPN 車両のみ
制御装置	HKS F-CON iS※JPN ワイヤスロットル車両のみ HKS Flash Editor※JPN 電子制御スロットル車両のみ

○本製品を下記使用条件下にて使用した場合には、本体保証をお受けになることはできません。

保証対象外となる使用条件

エンジン最大回転数の引き上げ、またはプーリー変更により、インペラ回転数を指定回転数以上で使用した場合。(インペラ回転数 最大 110,000rpm)

改訂の記録

改訂No.	日 付	記 載 変 更 内 容
3-3.01	2018/4	初版
3-3.02	2018/5	構成部品変更
3-3.03	2018/10	構成部品変更
3-3.04	2022/12	記載事項変更

2022年12月16日発行 (禁無断複写、転載)株エッチ・ケー・エス

目次

はじめに／本書・製品について／安全上の注意	2
パーツリスト	3
1. ノーマルパーツ取外し	8
2. トラクションフルードクーラー取付け	13
3. スーパーチャージャー取付け	20
4. インタークーラー・パイピング取付け	38
5. ノーマルパーツ取付け	60
6. トラクションフルード注入	60
7. 取付け後の確認と、トラクションフルード量調整	61

はじめに

この度は、HKS GT2スーパーチャージャーシステムをお買い上げいただきまことにありがとうございます。

本製品はプロキットとなっており、キット内のパーツのみでは走行できません。

制御ユニットに関してはお客様でセットアップし、リセットिंगしてご使用ください。

安全にご使用いただき、機能を十分に発揮させるために本書をお読みください。

取付け終了後は本書に記載されている内容を守り、安全に使用してください。

本書は取付けを行なう前に必ず読み、よく理解した上で作業を行なってください。

本書・製品について

- 本書は本製品を安全に取付けていただき、お客様や第三者への危険や損害を未然に防止するため、守っていただきたい注意事項を示しています。
- 本製品は自動車専用部品です。用途外の使用は行なわないでください。
- お客様又は第三者が、本製品及び付属品を加工、誤使用したことにより受けた損害について当社は一切責任を負いかねます。
- 本製品はノーマル車両への取付けを基準に開発されています。
- 本書は、予告なく改版することがありますので本製品と本書の整合をご確認ください。
- 本製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書は複数の型式の車両への共通の取付説明書の為、特定の車両のみに該当する項目については各項目末尾に※印にて車両の指定をしています。取付けする車両に該当する場合のみ、その項目の作業を行ってください。
- 本製品は複数の型式の車両への共通の製品の為、取付けする車両に応じて、部品の余りがあります。余り部品に関しましては次頁パーツリスト内備考欄に記載してあります。

安全上の注意

本書では、下記のような記号を使用し、お客様への危険レベルを示しています。



警告

作業員又は使用者が、死亡又は重傷を負う恐れがある場合



注意

作業員又は使用者が、傷害を負う危険が想定される場合（人損）

拡大物損の発生が想定される場合

（拡大物損とは、当該製造物が原因で誘発された物的損害（例えば車両の破損及び焼損））

パーツリスト

連番	品名	数量	備考
1	スーパーチャージャー本体 Assy	1	GT2-7040
2	トラクションフルードフィルタ	1	
3	トラクションフルードタンク	1	
4	トラクションフルード	1	
5	トラクションフルードクーラー	1	
6	アイドラプーリー	2	
7	クランクプーリー	1	
8	S/C 用クランクプーリー	1	
9	スーパーチャージャー本体プーリー	1	φ120
10	ベルト	1	6PK1319
11	インタークーラー	1	
12	リリーフバルブ Assy	1	
13	スーパーパワーフロー	1	φ150-70 湿式 2 層
14	ホース φ4	2	1000mm ※電子制御スロットル車両の場合 1 個不要
15	ホース φ8	1	3000mm
16	ホース φ10	1	1250mm
17	ホース φ12	1	1000mm
18	ホース φ22	1	1000mm
19	スリーウェイ φ4-φ4-φ4	1	※電子制御スロットル車両の場合不要
20	スリーウェイ φ8-φ4-φ8	1	※ワイヤースロットル車両の場合不要
21	スリーウェイ φ22-φ19-φ22	1	※電子制御スロットル車両の場合不要
22	コルゲートチューブ φ8 用	1	
23	コルゲートチューブ φ10 用	1	
24	コルゲートチューブ φ12 用	1	
25	コルゲートチューブ φ22 用	1	
26	インタークーラーインレットパイプ No. 1	1	

27	インタークーラーインレットパイプ No. 2	1	
28	インタークーラーアウトレットパイプ No. 1	1	
29	インタークーラーアウトレットパイプ No. 2	1	
30	インタークーラーアウトレットパイプ No. 3	1	
31	サクシヨンパイプ No. 1	1	
32	サクシヨンパイプ No. 2	1	
33	ジョイントパイプ $\phi 8$	1	
34	スーパーチャージャーブラケット No. 1	1	
35	スーパーチャージャーブラケット No. 2	1	
36	スーパーチャージャーブラケット No. 3	1	
37	スーパーチャージャーブラケット No. 4	1	リストリクタ径 $\phi 37.5$
38	スーパーチャージャーブラケット No. 4	1	リストリクタ径 $\phi 58$
39	テンシヨナブラケット	1	
40	トラクシヨンフルードタンクブラケット No. 1	1	
41	トラクシヨンフルードタンクブラケット No. 2	1	
42	トラクシヨンフルードフィルタブラケット	1	
43	トラクシヨンフルードクーラーブラケット No. 1	1	
44	トラクシヨンフルードクーラーブラケット No. 2	1	
45	トラクシヨンフルードクーラーブラケット No. 3	1	
46	インタークーラーインレットパイプブラケット	1	
47	インタークーラーアウトレットパイプブラケット	1	
48	サクシヨンパイプブラケット	1	
49	インタークーラーブラケット No. 1	1	
50	インタークーラーブラケット No. 2	1	
51	2次エアコントロール SOL. V. ブラケット	1	※電子制御スロットル車両の場合不要
52	ABS モジュレータ ブラケット	2	※USA 車両の場合不要
53	リレーボックスブラケット No. 1	1	※JPN 車両の場合不要
54	リレーボックスブラケット No. 2	1	※JPN 車両の場合不要

55	リレーボックスブラケット No. 3	1	※JPN 車両の場合不要
56	ホーンブラケット	1	※JPN 車両の場合不要
57	汎用パイプブラケット φ50 用	1	
58	汎用パイプブラケット φ60 用	5	
59	サクションパイプガスケット	2	
60	インシュレータラバー	4	
61	吸気温センサ	1	※ワイヤースロットル車両の場合不要
62	吸気温センサハーネス	1	※ワイヤースロットル車両の場合不要
63	シリコンホース φ50 L=20	1	
64	シリコンホース φ50 L=55	1	
65	シリコンホース φ55 L=43	1	
66	シリコンホース φ60 L=70	4	
67	シリコンホース φ70 L=20	2	
68	シリコンホース φ70 L=70	1	
69	異径シリコンホース φ60-φ70	1	
70	クッションホース φ60 L=75	2	
71	スペーサ M6 L=3	3	※電子制御スロットル車両の場合 1 個不要 ※USA 車両の場合 2 個不要
72	スペーサ M6 L=4	2	
73	スペーサ M6 L=10	4	
74	スペーサ M6 L=32	2	
75	スペーサ M8 L=10	2	
76	スペーサ M10 L=7.5	1	
77	スペーサ M10 L=10	1	
78	スペーサ M10 L=32	1	
79	ホースクリップ φ8 用	5	
80	ホースクリップ φ10 用	2	
81	ホースクリップ φ12 用	2	
82	ホースクリップ φ22 用	4	※電子制御スロットル車両の場合 2 個不要

83	ホースバンド #28	3	
84	ホースバンド #36	17	
85	ホースバンド #40	5	
86	スタッドボルト M10 10-6-20	1	
87	六角ボルト M6 L=15	8	
88	六角ボルト M6 L=20	1	
89	六角ボルト M6 L=25	5	
90	六角ボルト M8 L=15	4	※電子制御スロットル車両の場合 1 個不要
91	フランジボルト M6 L=30	4	
92	フランジボルト M8 L=16	4	
93	キャップボルト M5 L=15	6	
94	キャップボルト M6 L=12	5	ローヘッドタイプ
95	キャップボルト M6 L=60	2	
96	キャップボルト M6 L=80	2	
97	キャップボルト M8 L=20	1	
98	キャップボルト M8 L=65	2	
99	キャップボルト M10 L=25	1	P=1. 5
100	キャップボルト M10 L=25	2	P=1. 25
101	キャップボルト M10 L=50	2	
102	キャップボルト M10 L=80	1	
103	皿ボルト M8 L=35	3	
104	銅ワッシャ M8	1	
105	スポンジシート	3	
106	ワッシャ M5	6	
107	ワッシャ M6	3	
108	ワッシャ M8	3	
109	ワッシャ M10	6	
110	大径ワッシャ M6	21	※電子制御スロットル車両の場合 1 個不要 ※USA 車両の場合 2 個不要

111	大径ワッシャ M8	7	
112	ナット M6	2	※USA 車両の場合不要
113	フランジナット M6	9	※JPN 車両の場合 2 個不要
114	フランジナット M8	4	
115	フランジナット M10	3	セレート有
116	フランジナット M10	2	セレート無
117	タイラップ 大	15	
118	タイラップ 中	20	
119	タイラップ 小	25	
120	取扱説明書	1	
121	取付説明書	1	本書

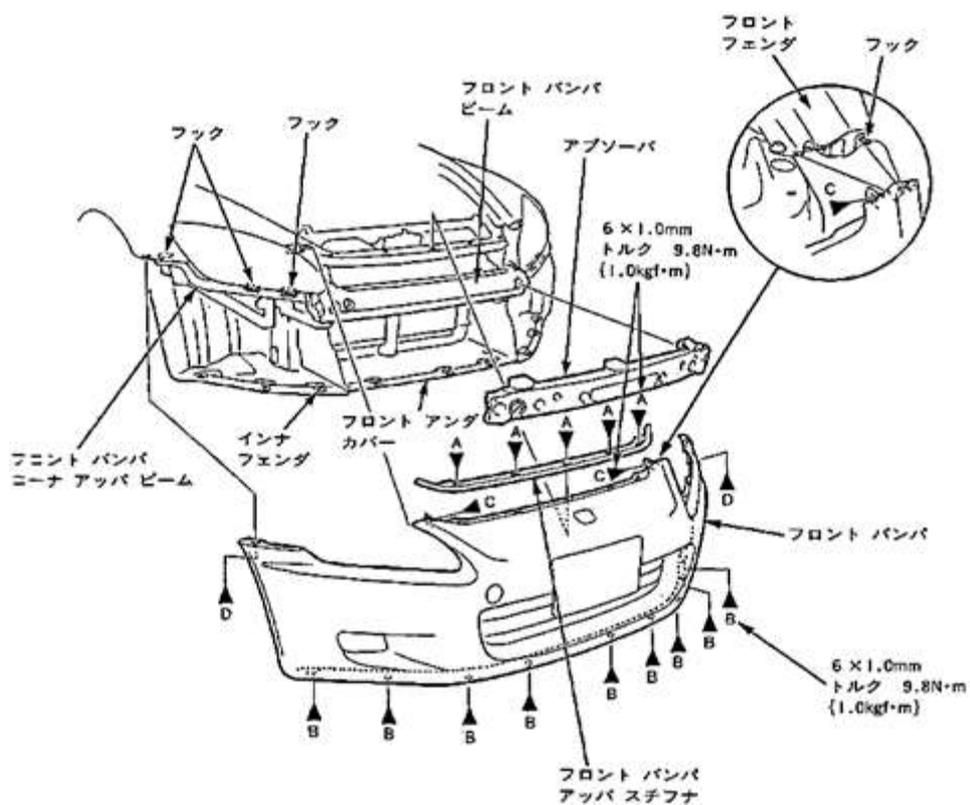
1. ノーマルパーツ取外し

整備要領書に従って作業を行なう。

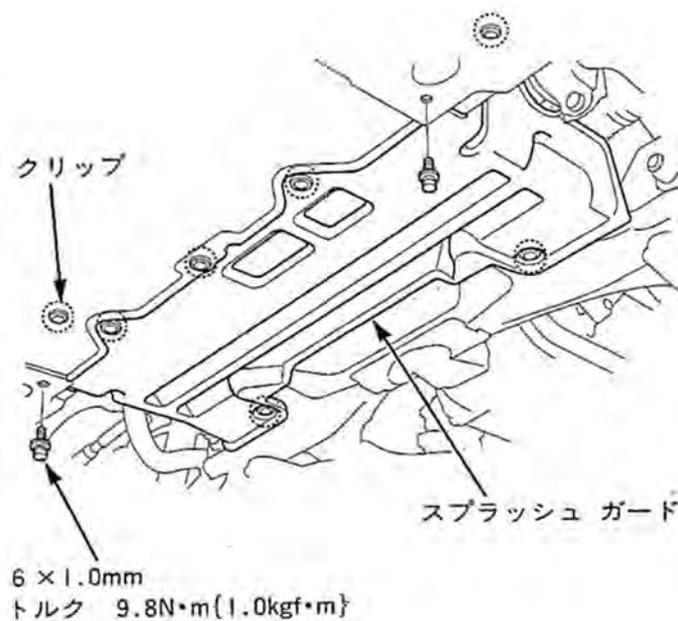
(1) バッテリーのマイナス端子接続を取外す。

(2) フロントバンパを取外す。

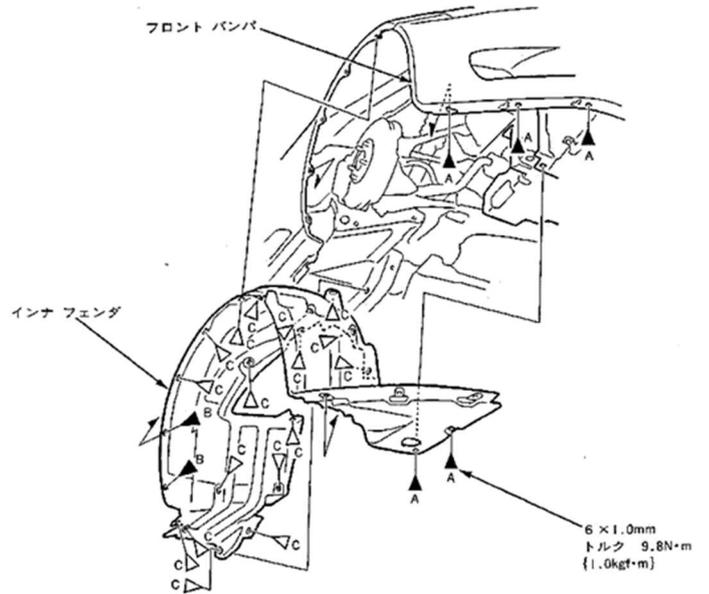
(3) フロントアンダカバーを取外す。



(4) スプラッシュガードを取外す。



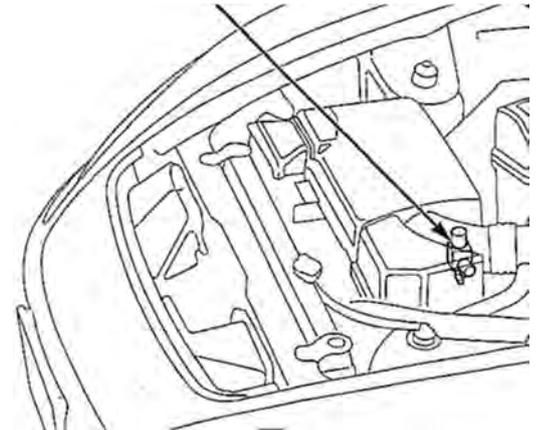
(5) インナフェンダ R/L を取外す。



※(6)～(11) ワイヤスロットル仕様車両のみ

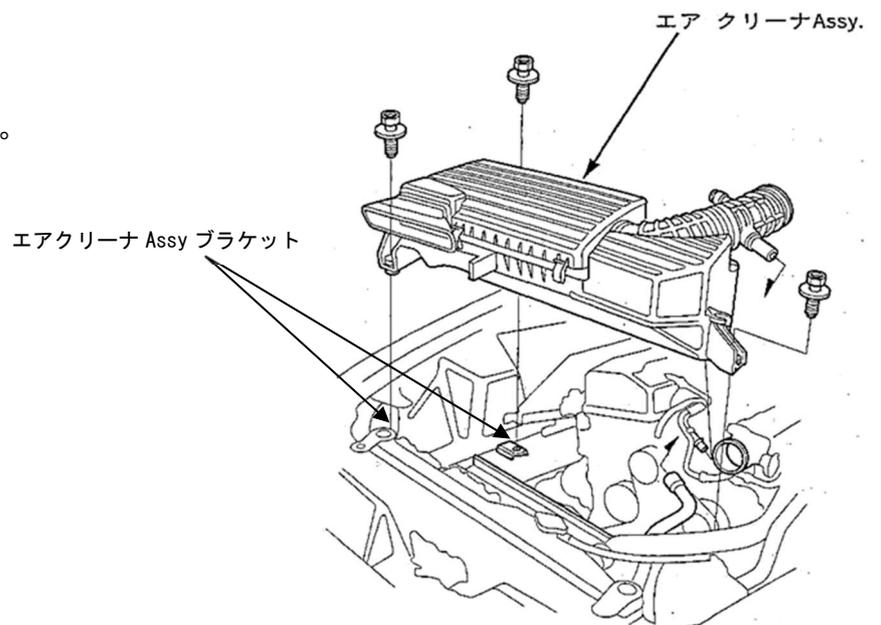
(6) 2次エアコントロール SOL. V. をエアクリーナ Assy から取外す。

2次エアコントロール SOL. V.



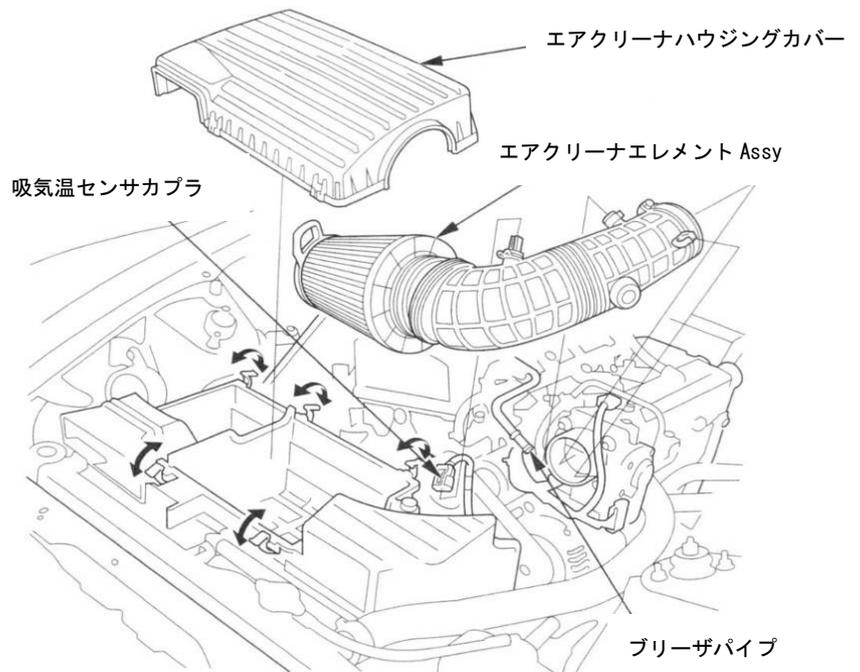
(7) エアクリーナ Assy を取外す。

(8) エアクリーナ Assy ブラケットを取外す。



(9) 吸気温度センサカバーと

ブリーザパイプを外し、
エアクリーナハウジングカバーと
エアクリーナエレメント Assy を取外す。

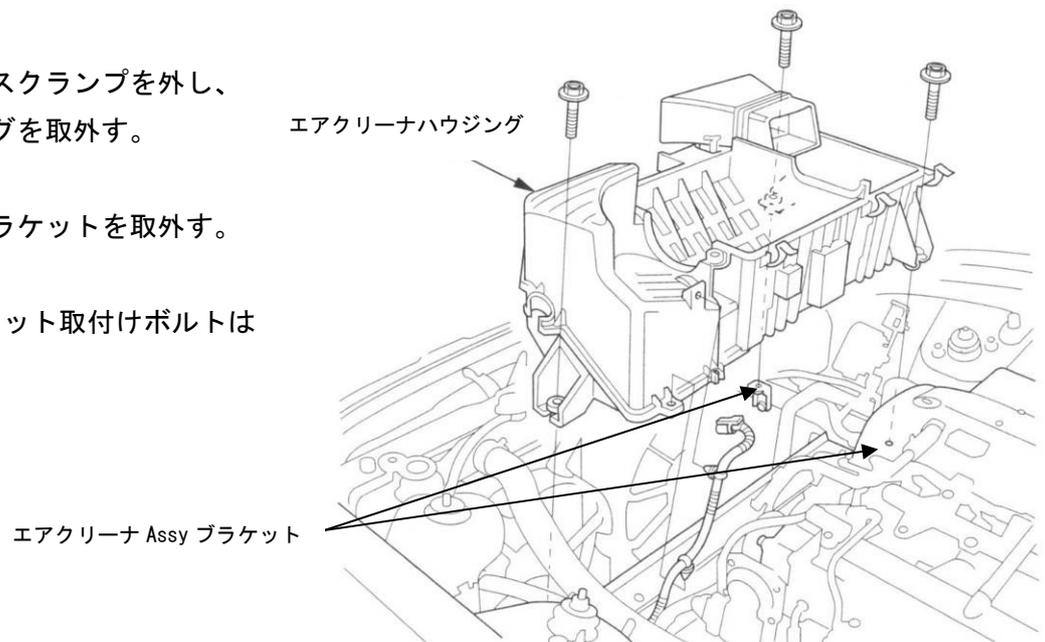


(10) 吸気温度センサのハーネスクランプを外し、
エアクリーナハウジングを取外す。

(11) エアクリーナ Assy ブラケットを取外す。

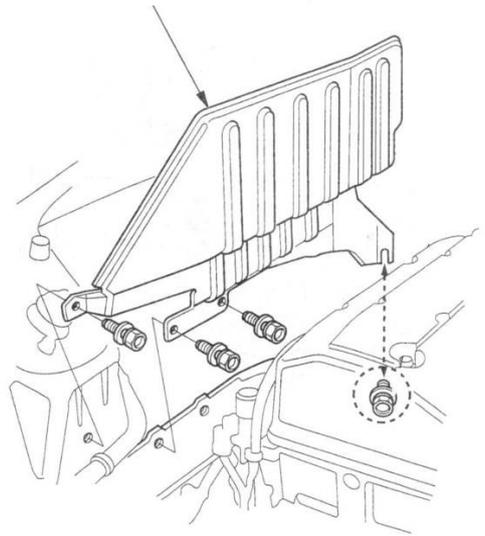
アドバイス

- ・ エアクリーナ Assy ブラケット取付けボルトは
1 本再使用する。

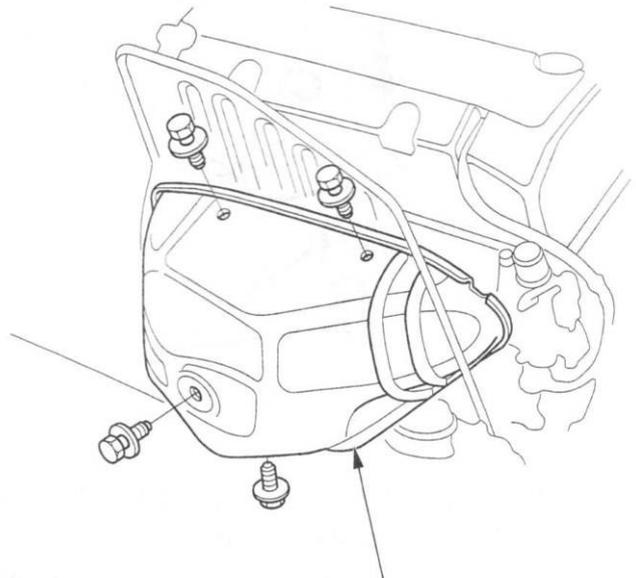


(12) ヒートシールドを取外す。

ヒートシールド



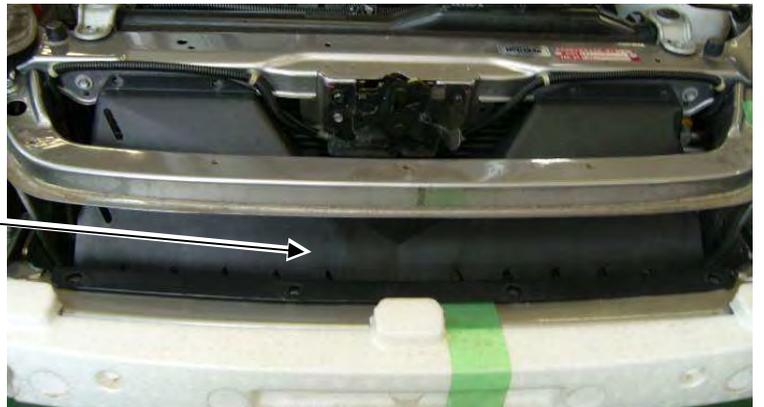
(13) エキゾーストマニホールドカバーを取外す。



エキゾーストマニホールドカバー

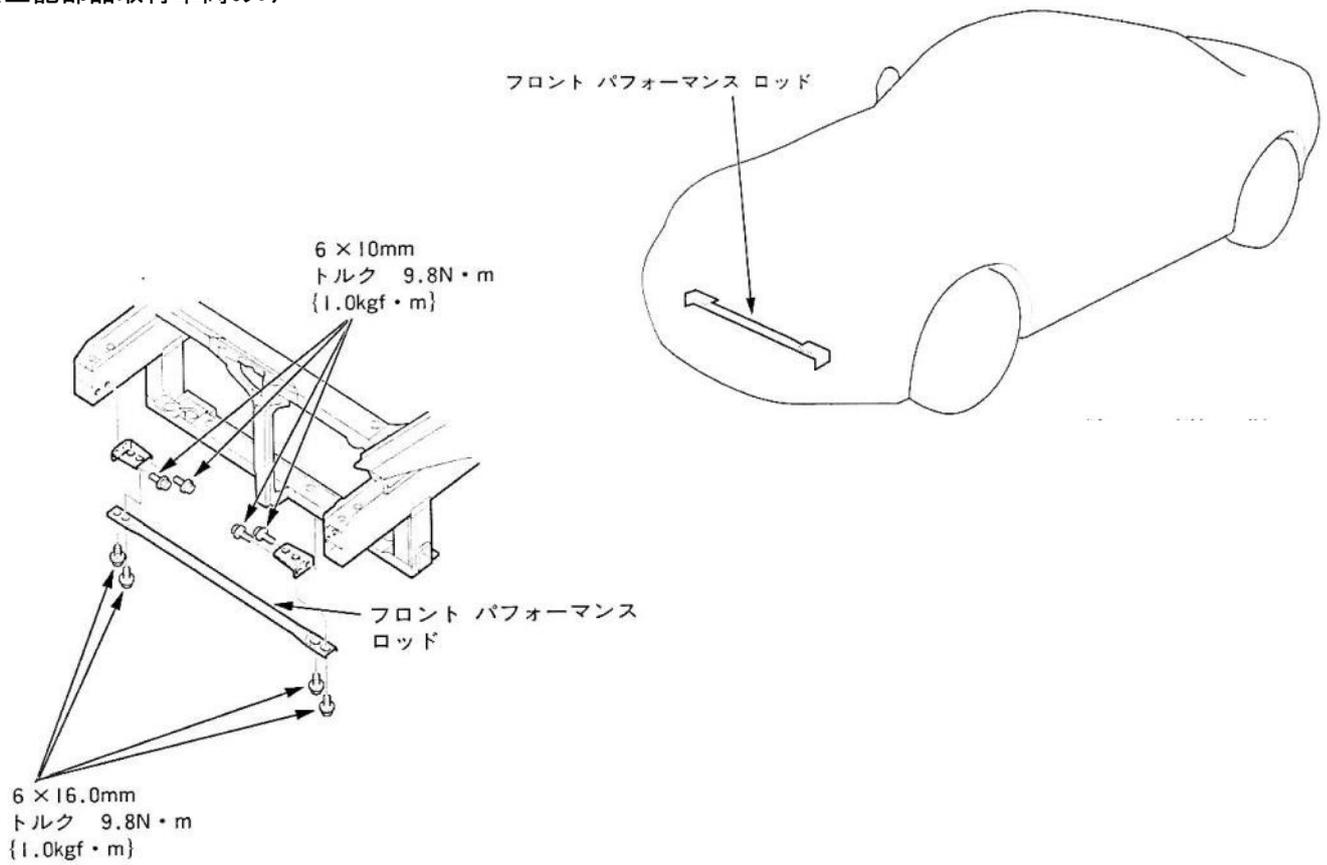
(14) フロントエアガイドを取外す。

フロントエアガイド



(15) フロントパフォーマンスロッドを取外す。

※上記部品取付車両のみ



(16) クランクプーリーを取外し、同封のクランクプーリーに付け替える。

アドバイス

・廻り止めにはホンダ純正専用工具を使用する。

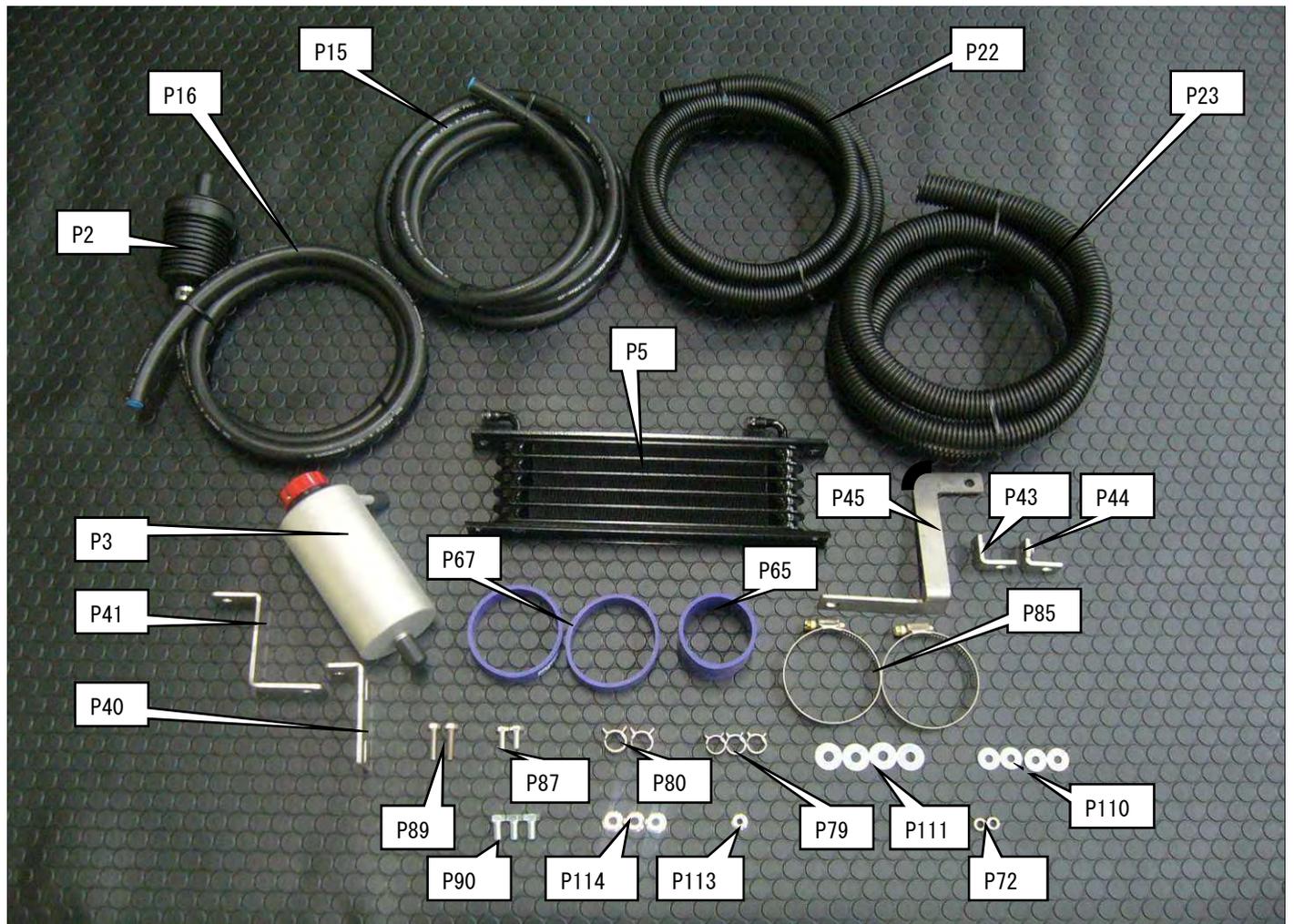
締付けトルク N・m(kgf・m)

T=245 (25.0)



2. トラクションフルードクーラー取付け

パーツリスト



No.	品名	数量
P2	トラクションフルードフィルタ	1
P3	トラクションフルードタンク	1
P5	トラクションフルードクーラー	1
P15	ホース φ8	1
P16	ホース φ10	1
P22	コルゲートチューブ φ8 用	1
P23	コルゲートチューブ φ10 用	1
P40	トラクションフルードタンクブラケット No. 1	1
P41	トラクションフルードタンクブラケット No. 2	1
P43	トラクションフルードクーラーブラケット No. 1	1
P44	トラクションフルードクーラーブラケット No. 2	1
P45	トラクションフルードクーラーブラケット No. 3	1
P65	シリコンホース φ55 L=43	1
P67	シリコンホース φ70 L=20	2
P72	スペーサ M6 L=4	2

P79	ホースクリップ φ8 用	3
P80	ホースクリップ φ10 用	2
P85	ホースバンド #40	2
P87	六角ボルト M6 L=15	2
P89	六角ボルト M6 L=25	2
P90	六角ボルト M8 L=15	3
P110	大径ワッシャ M6	4
P111	大径ワッシャ M8	4
P113	フランジナット M6	1
P114	フランジナット M8	3



注意

スーパーチャージャーAssy の内部構成部品は精密部品です。
 トラクションフルードに異物が混入するとスーパーチャージャーAssy が破損します。
 トラクションフルード配管の作業中ホースやタンクに異物が混入しないように
 作業を行ってください。

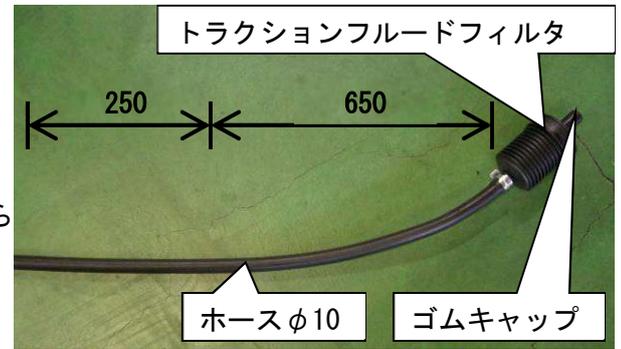
(1) ホースφ8 を 1000mm と 1350mm に切断する。

(2) ホースφ10 を 250mm と 650mm に切断する。

アドバイス

・ホースφ10 は梱包時にオイルフィルタエレメントに接続してある為、取り外さずに、ホースの接続してある口から 650mm・250mm を切断する。

(3) トラクションフルードフィルタについている
ゴムキャップを取外す。

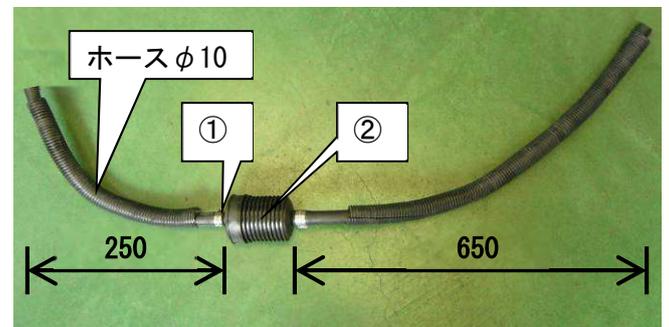


(4) コルゲートチューブφ8 用を 950mm と 1300mm に切断し、ホースφ8 に取付ける。

(5) コルゲートチューブφ10 用を 200mm と 600mm に切断し、ホースφ10 に取付ける。

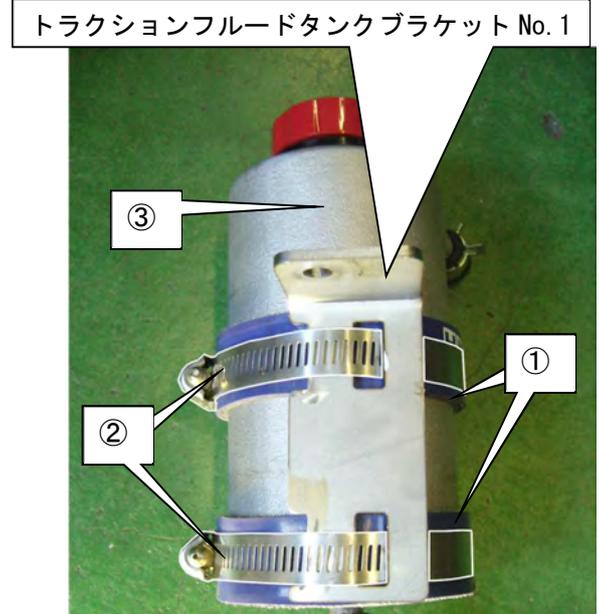
(6) ホースφ10 を

- ①ホースクリップφ10 用
を用い、
- ②トラクションフルードフィルタに取付ける。

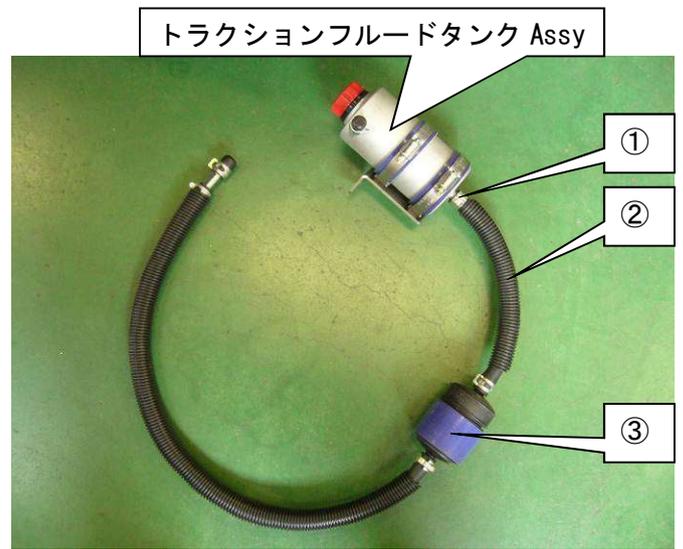


(7) トラクションフルードタンクブラケット No. 1 を、

- ①シリコンホース φ70 L=20
- ②ホースバンド #40
を用い、
- ③トラクションフルードタンク
に取付ける。



- (8) トラクションフルードタンク Assy 下部ニップルの
 ゴムキャップを外し、
 ①ホースクリップφ10用
 を用い、
 ②ホース φ10Assy
 と接続する。

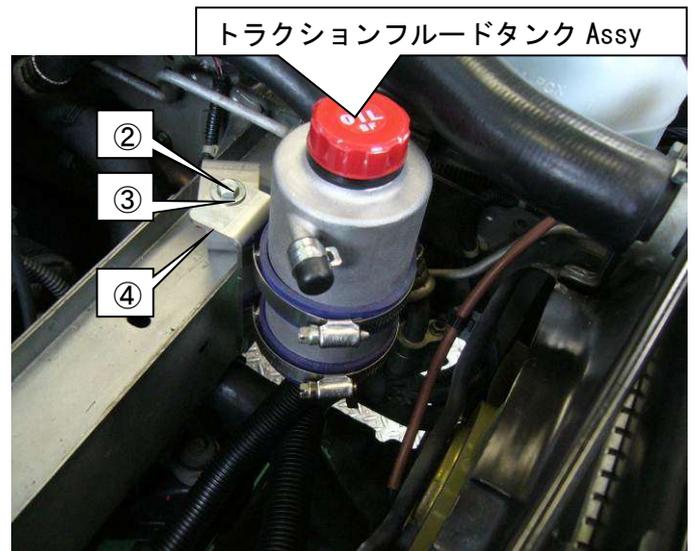
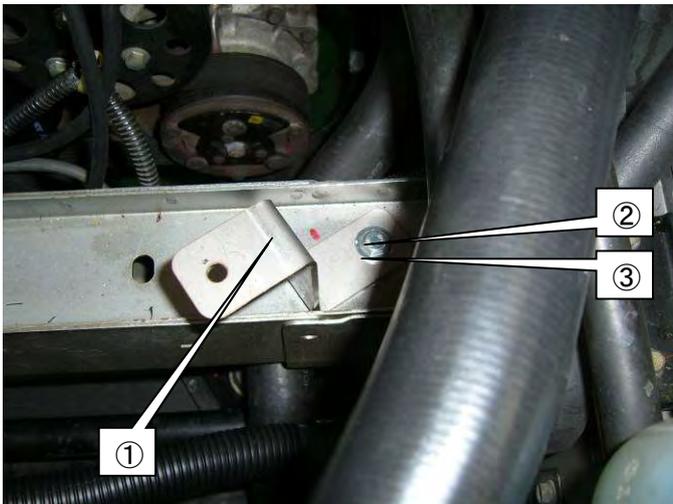


- (9) トラクションフルードフィルタに
 ③シリコンホースφ55 L=43 を取付ける。

- (10) トラクションフルードタンク Assy を
 ①トラクションフルードタンクブラケット No. 2
 ②六角ボルト M6 L=15
 ③大径ワッシャ M6
 ④フランジナット M6
 を用い、車両に取付ける。

アドバイス

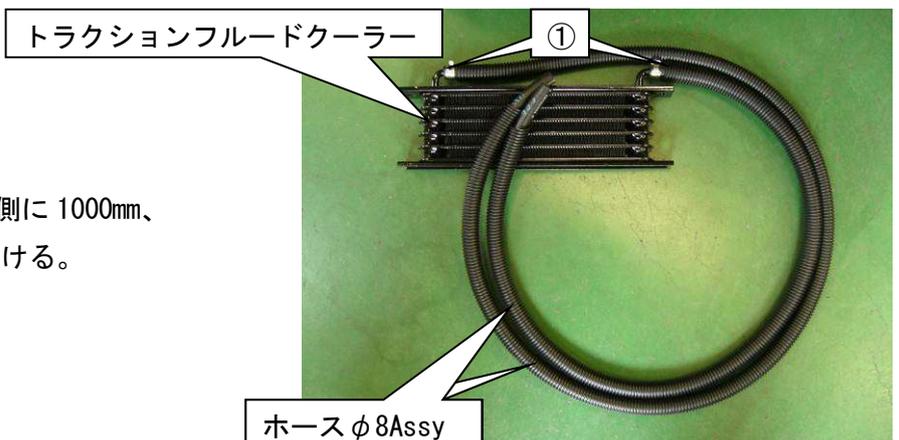
- ・トラクションフルードタンクブラケット No. 2 は上下がある為、長さの長いほうを下側に向けて取付ける。



- (11) トラクションフルードクーラーに
 ①ホースクリップφ8用
 を用い、ホースφ8Assy を取付ける。

アドバイス

- ・図内トラクションフルードクーラー右側に 1000mm、左側に 1350mm のホースφ8Assy を取付ける。

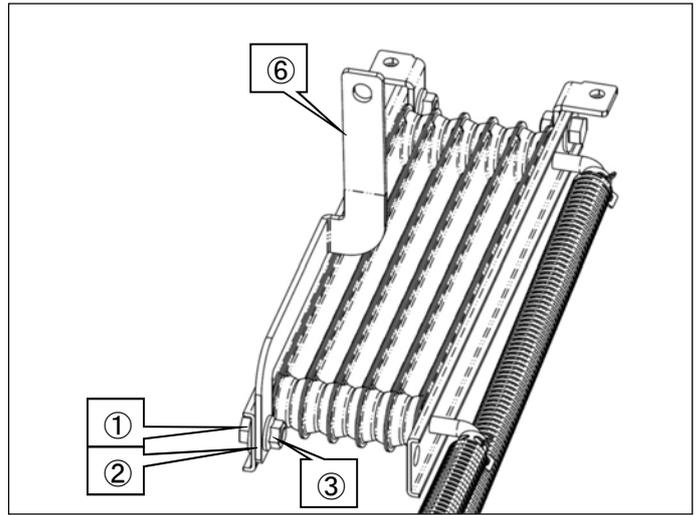
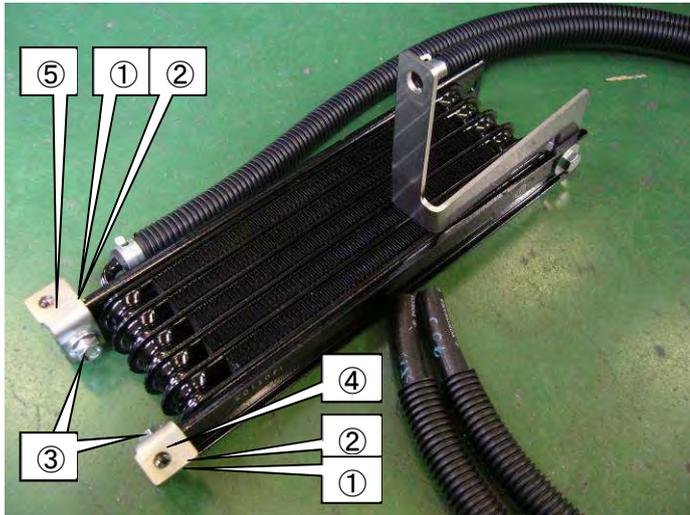


(12) トラクションフルードクーラー-Assy に

- ①六角ボルト M8 L=15
- ②大径ワッシャ M8
- ③フランジナット M8

を用い、

- ④トラクションフルードクーラーブラケット No. 1
 - ⑤トラクションフルードクーラーブラケット No. 2
 - ⑥トラクションフルードクーラーブラケット No. 3
- を取付ける。



(13) エアコンレシーバタンクを車両から取外し、
ブラケットを図のように曲げ加工して
再度エアコンレシーバタンクを車両に取付ける。

※(14) USA 車両のみ

(14) エアコンレシーバタンクを車両から取外し、

- ①六角ボルト M8 L=20
- ②ワッシャ M8
- ③スペーサ M8

で再度取り付けてください。

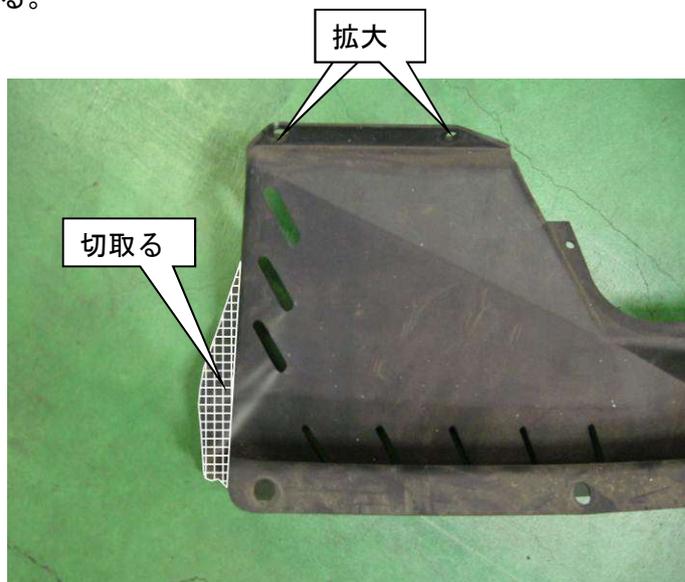
アドバイス

- ・取付後、ホーンが正しく動作することを確認してください。



(15) フロントエアガイドの図の斜線部分を左右共に切取る。

(16) フロントエアガイドの図の2つの穴をφ11に拡大する。



(17) フロントエアガイドを図のように
ラジエータコアサポートの前方に通しておく。



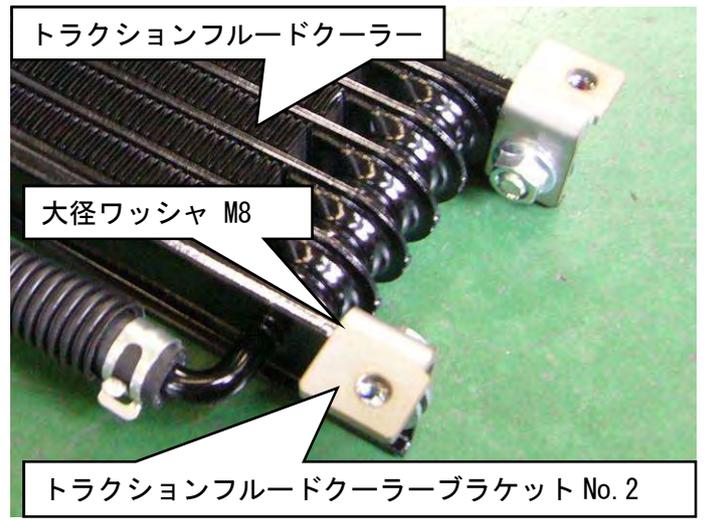
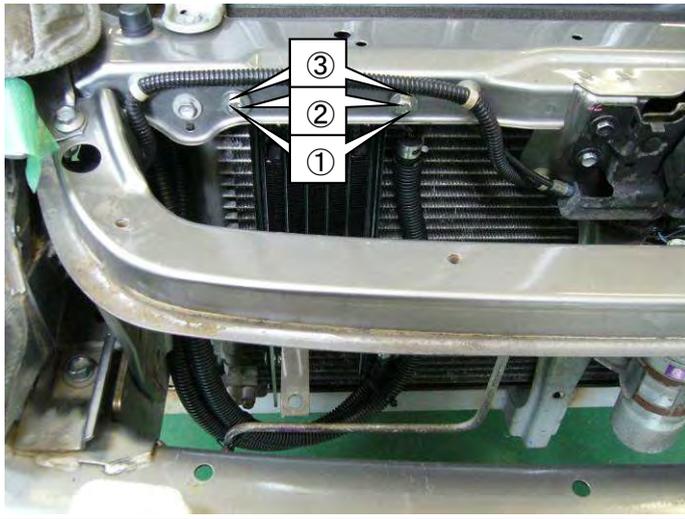
(18) トラクションフルードクーラー-Assy を

- ①六角ボルト M6 L=25
- ②大径ワッシャ M6
- ③スペーサ M6 L=4

を用い、車両に仮付けする。

アドバイス

- ・車両側の穴位置とトラクションフルードクーラーブラケットの穴位置が合わない場合、トラクションフルードクーラーブラケット No. 2 とトラクションフルードクーラーの間に同封の大径ワッシャ M8 を挟み、穴位置を調整する。



(19) トラクションフルードクーラー-Assy のホースφ8 をラジエーター横からエンジンルーム内に引き込む。

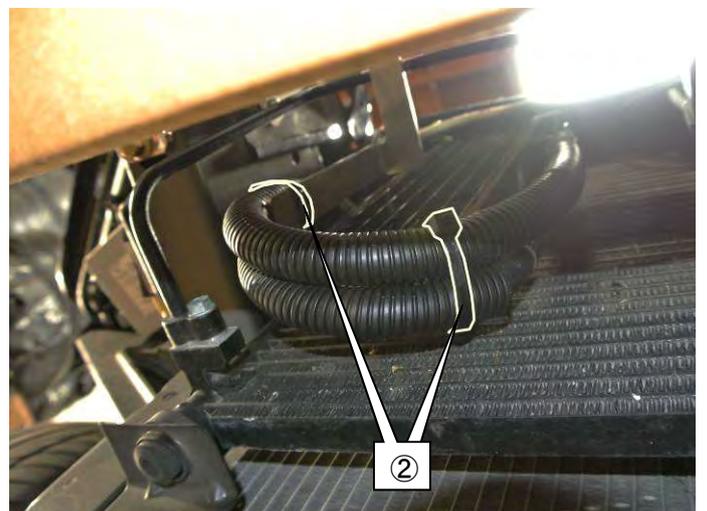
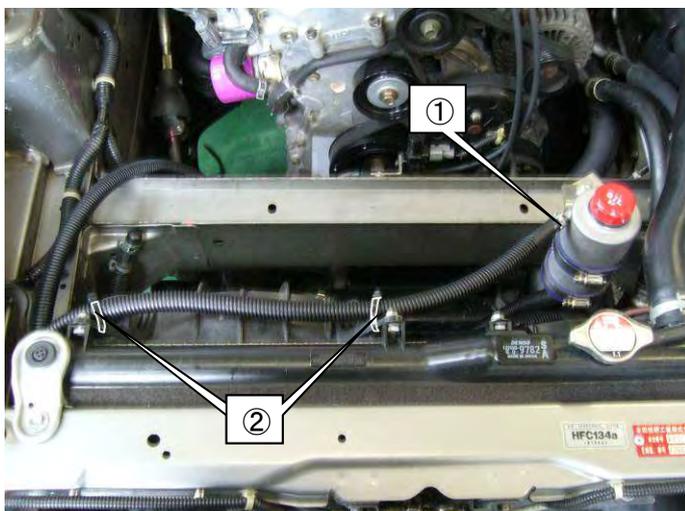
(20) トラクションフルードタンクと

1350mm のホースφ8 を

- ①ホースクランプ φ8 用
- を用い、接続する。

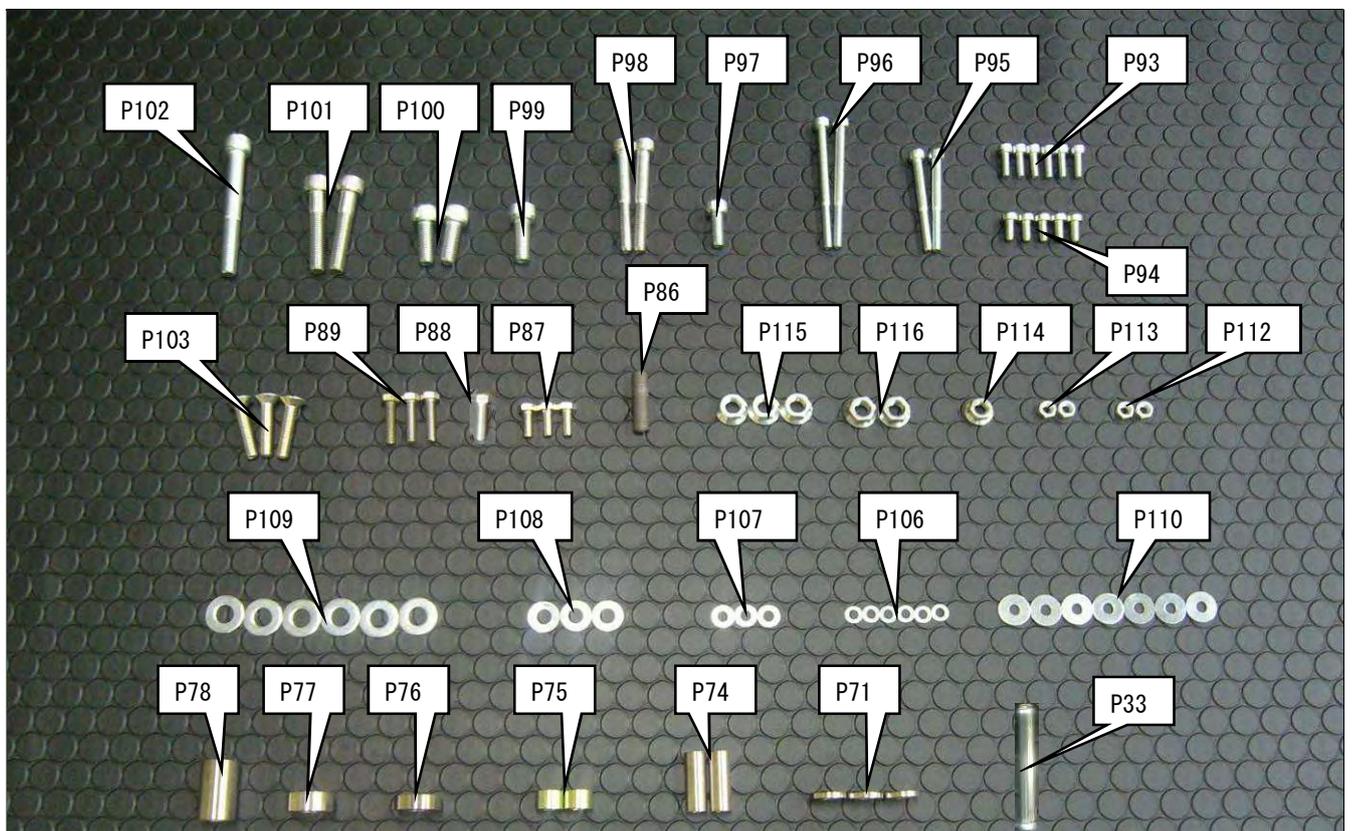
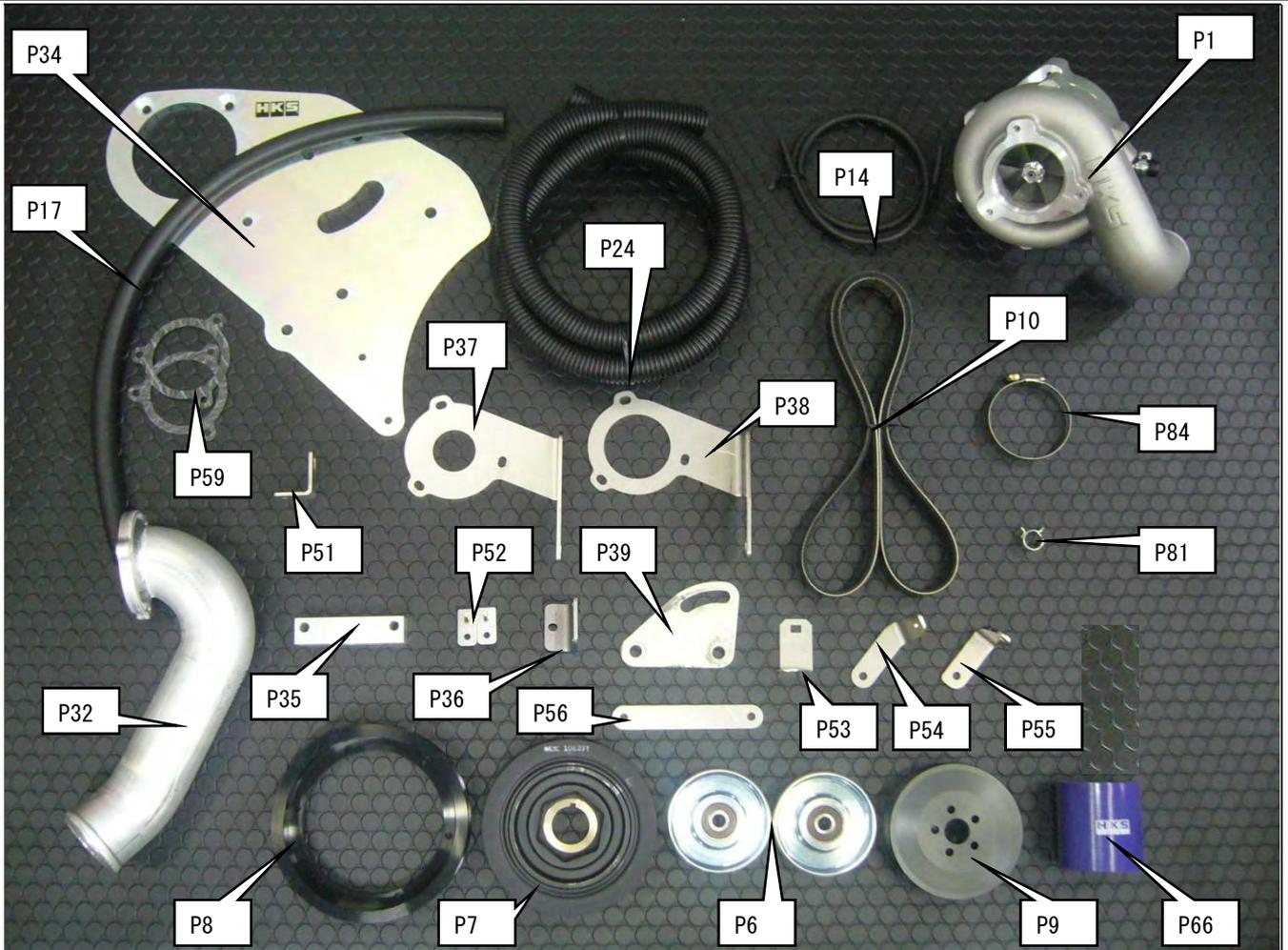
(21) ホースφ8 の図の部分

- ②タイラップ大
- を用い、固定する。



3. スーパーチャージャー取付け

パーツリスト



No.	品名	数量
P1	スーパーチャージャー本体 Assy	1
P6	アイドラプーリー	2
P7	クランクプーリー	1
P8	S/C用クランクプーリー	1
P9	スーパーチャージャー本体プーリー	1
P10	ベルト	1
P14	ホース φ4	1
P17	ホース φ12	1
P24	コルゲートチューブ φ12用	1
P32	サクシヨンパイプ No. 2	1
P33	ジョイントパイプ φ8	1
P34	スーパーチャージャーブラケット No. 1	1
P35	スーパーチャージャーブラケット No. 2	1
P36	スーパーチャージャーブラケット No. 3	1
P37	スーパーチャージャーブラケット No. 4(リストリクタ径φ37.5)	1
P38	スーパーチャージャーブラケット No. 4(リストリクタ径φ58)	1
P39	テンシヨナブラケット	1
P51	2次エアコントロール SOL. V. ブラケット	1
P52	ABS モジュレータブラケット	2
P53	リレーボックスブラケット No. 1	1
P54	リレーボックスブラケット No. 2	1
P55	リレーボックスブラケット No. 3	1
P56	ホーンブラケット	1
P59	サクシヨンパイプガスケット	2
P66	シリコンホース φ60 L=70	1
P71	スペーサ M6 L=3	3
P74	スペーサ M6 L=32	2
P75	スペーサ M8 L=10	2
P76	スペーサ M10 L=7.5	1
P77	スペーサ M10 L=10	1
P78	スペーサ M10 L=32	1
P81	ホースクリップ φ12用	1
P84	ホースバンド #36	1
P86	スタッドボルト M10 10-6-20	1
P87	六角ボルト M6 L=15	3
P88	六角ボルト M6 L=20	1
P89	六角ボルト M6 L=25	3
P93	キャップボルト M5 L=15	6

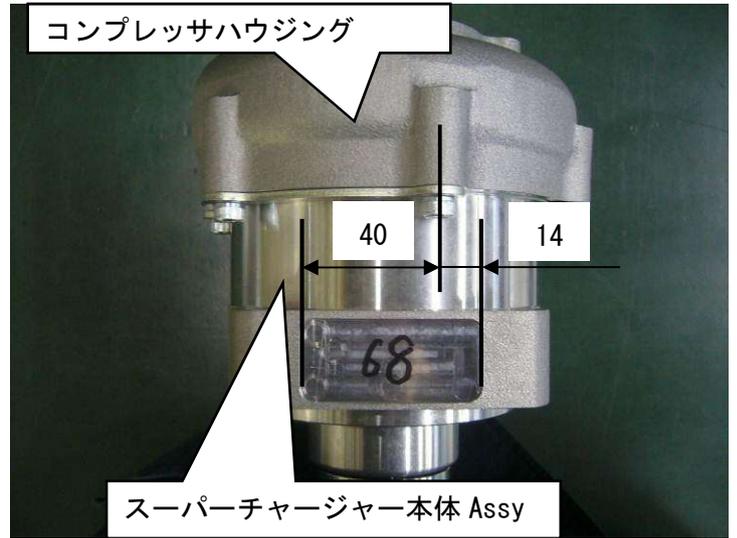
P94	キャップボルト M6 L=12	5
P95	キャップボルト M6 L=60	2
P96	キャップボルト M6 L=80	2
P97	キャップボルト M8 L=20	1
P98	キャップボルト M8 L=65	2
P99	キャップボルト M10 L=25 (P=1.5)	1
P100	キャップボルト M10 L=25 (P=1.25)	2
P101	キャップボルト M10 L=50	2
P102	キャップボルト M10 L=80	1
P103	皿ボルト M8 L=35	3
P106	ワッシャ M5	6
P107	ワッシャ M6	3
P108	ワッシャ M8	3
P109	ワッシャ M10	6
P110	大径ワッシャ M6	7
P112	ナット M6	2
P113	フランジナット M6	2
P114	フランジナット M8	1
P115	フランジナット M10(セレート有)	3
P116	フランジナット M10(セレート無)	2

(1) スーパーチャージャー本体 Assy の

コンプレッサハウジングが図内寸法の角度になっていることを確認する。

アドバイス

- ・コンプレッサハウジングの固定ボルトに工具を差し込むと計測しやすくなる。



(2) S/C 用クランクプーリーを

①キャップボルト M5 L=15

②ワッシャ M5

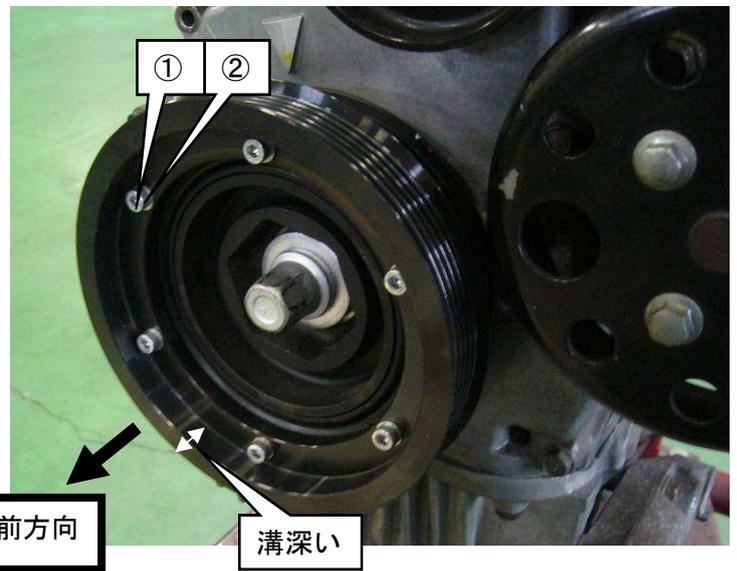
を用い、それぞれ 6 か所
クランクプーリーに取付ける。

アドバイス

- ・S/C 用クランクプーリーには表裏があります。
溝の深いほうが車両前方向に来るように取付ける。

締付けトルク N・m(kgf・m)

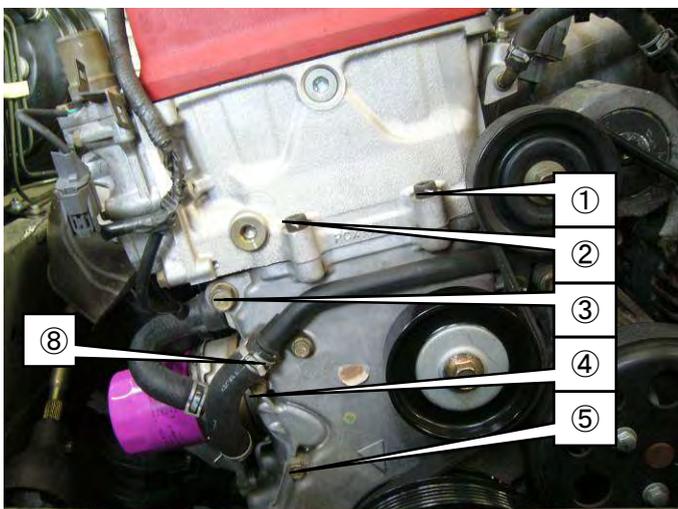
T=10(1.0)



(3) 図の①②③④⑤⑥⑦のボルトを取外す。

(4) 図の⑧のホースクリップのツマミ部分が上向きになるように角度を変える。

(5) 図のカプラブラケットを取外す。



(6) スーパーチャージャーブラケット No. 1 に

- ①キャップボルト M10 L=50
- ②ワッシャ M10
- ③スペーサ M10 L=10
- ④フランジナット M10(セレート有)

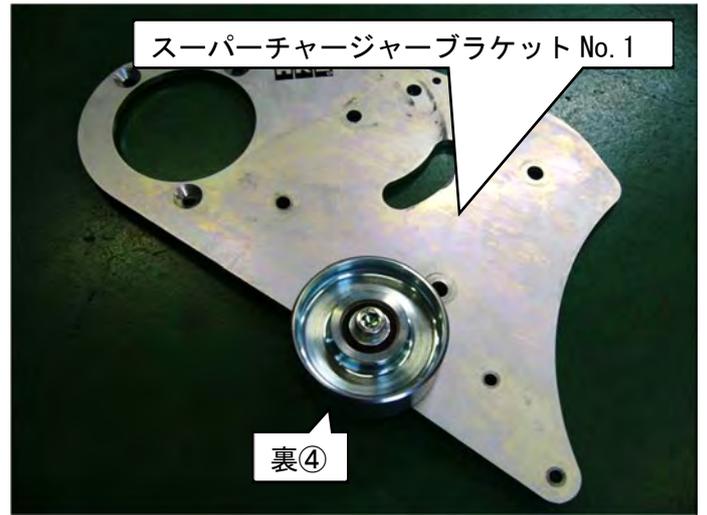
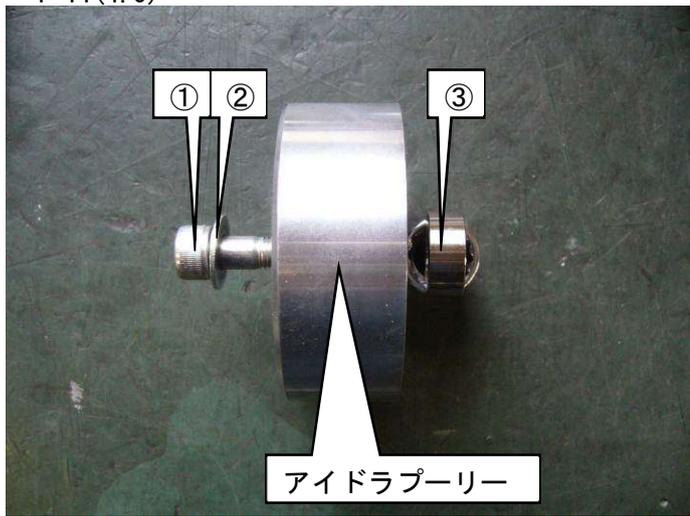
を用い、アイドラプーリーを取付ける。

アドバイス

- ・アイドラプーリーには表裏がある為、
Cリングのついている側がスーパーチャージャーブラケット No. 1 側に来るように取付ける。

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=44 (4.5)



(7) テンシヨナブラケットに

- ①キャップボルト M10 L=50
- ②ワッシャ M10
- ③スペーサ M10 L=7.5
- ④フランジナット M10(セレート有)

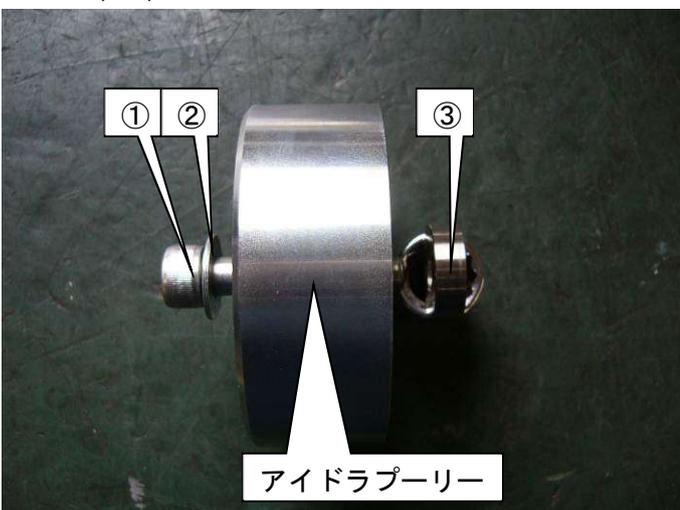
を用い、アイドラプーリーを取付ける。

アドバイス

- ・アイドラプーリーには表裏がある為、
Cリングのついている側がテンシヨナブラケット側に来るように取付ける。

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=44 (4.5)



(8) スーパーチャージャーブラケット No. 2 を

- ①キャップボルト M8 L=65
- ②ワッシャ M8
- ③スペーサ M8 L=10

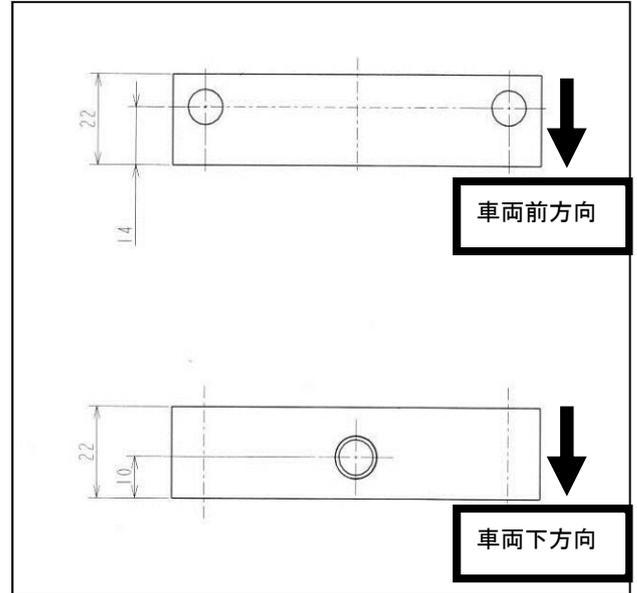
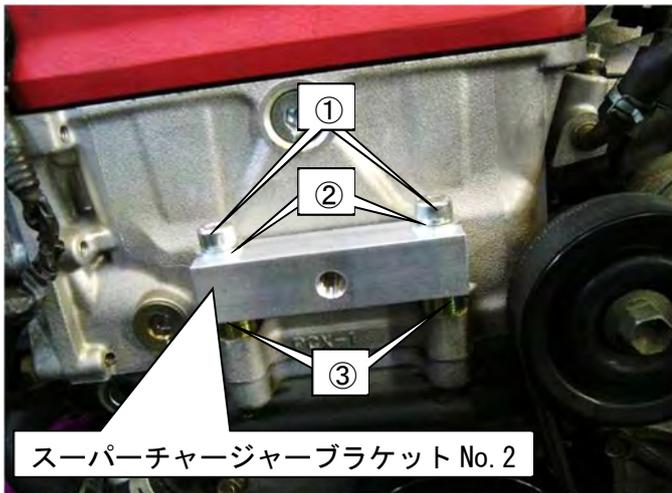
を用い、エンジンに仮付けする。

アドバイス

・スーパーチャージャーブラケット No. 2 には表裏がある為、
図を参照し取付ける。

本付け時締付けトルク N・m(kgf・m)

T=24 (2.4)



(9) スーパーチャージャーブラケット No. 3 を

- ①キャップボルト M6 L=60
- ②大径ワッシャ M6

を用い、スプールソレノイドバルブに仮付けする。

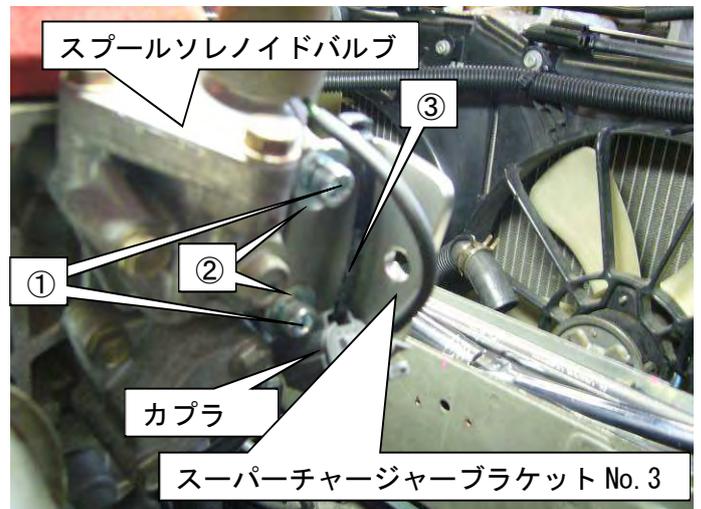
本付け時締付けトルク N・m(kgf・m)

T=15 (1.5)

(10) カプラを

- ③タイラップ大

を用い、スーパーチャージャーブラケット No. 3 に
固定する。



※(11)～(26) USA 車両のみ

(11) 純正ホーンから純正ホーンカプラを取り外し、
純正ホーンブラケットごと純正ホーン Assy を
車両から取り外す。



- (12) ホーン中央の純正ボルトを緩め、
純正ホーンブラケットの代わりに
ホーンブラケットを共締めする。



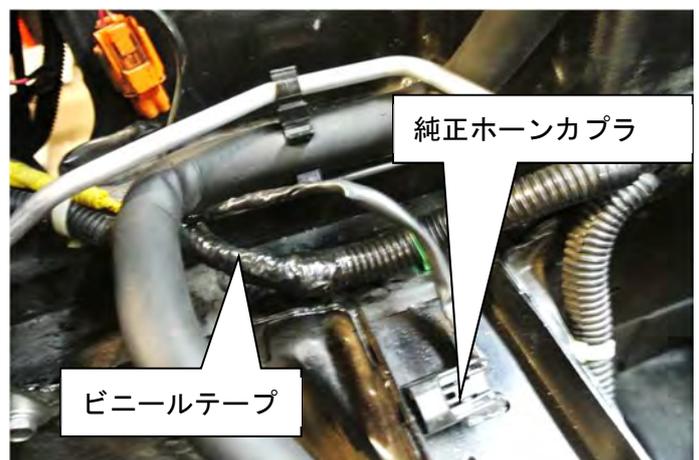
- (13) 純正ホーン Assy を
①純正エアクリーナ Assy ブラケット固定ボルト
を再使用し、車両に取付ける。



- (14) 純正ホーンカプラの根元配線部のビニールテープを剥がし、
純正ホーンカプラを移設した純正ホーンに取付ける。

アドバイス

- ・作業終了後、再度ビニールテープを巻き直す。



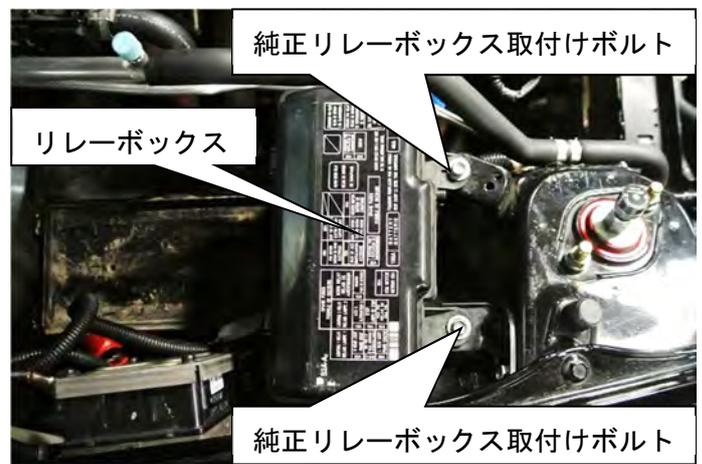
- (15) リレーボックスを移設する為、バッテリーを取外す。

- (16) 市販のレーシングバッテリーに交換または、市販のバッテリー移設キットを用いてバッテリーを移設する。

(17) リレーボックスを取外す。

アドバイス

- ・ 純正リレーボックス取付けボルトは再使用する。

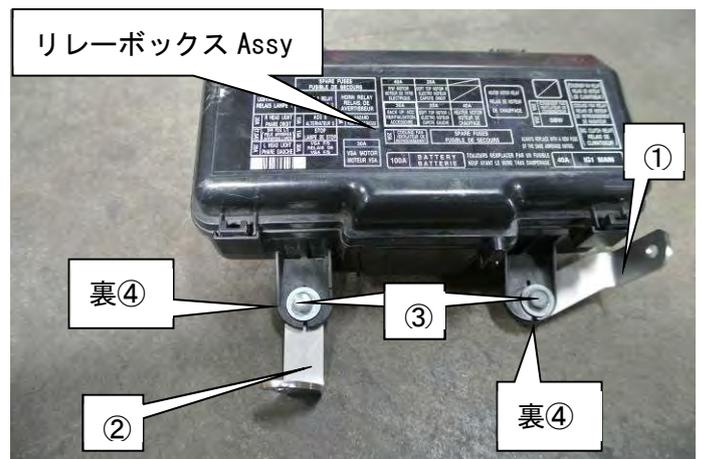


(18) リレーボックスに

- ① リレーボックスブラケット No. 1 を取付ける。



- (19) ① リレーボックスブラケット No. 2
② リレーボックスブラケット No. 3 を
③ 純正リレーボックス取付けボルト
④ フランジナット M6
を用い、リレーボックス Assy に取付ける。



- (20) ① 純正リレーボックスブラケット取付けボルト
を取り外し、
純正リレーボックスブラケットを車両から取外す。

アドバイス

- ・ ① 純正リレーボックスブラケット取付けボルトは再使用する。



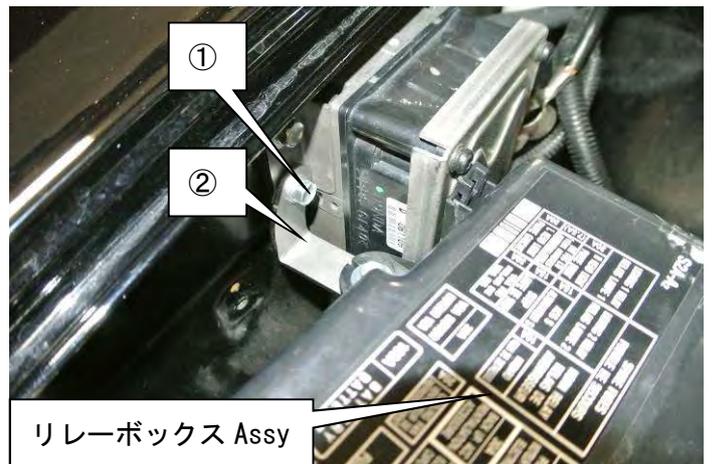
(21) リレーボックス Assy を

- ①純正リレーボックスブラケット固定ボルトを再使用して、車両に取付ける。



(22) ①純正 EPS コントロールユニット固定ボルトを取り外し、

- ②リレーボックスブラケット No. 3 を、共締めしリレーボックス Assy を車両に取付ける。

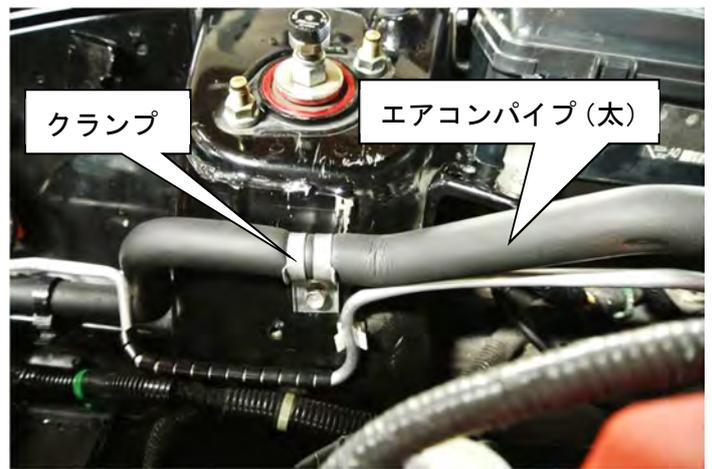


(23) リレーボックス Assy を

- ①純正リレーボックスブラケット固定ボルトを用い、車両に取付ける。



(24) エアコンパイプ (太) のクランプを取外す。



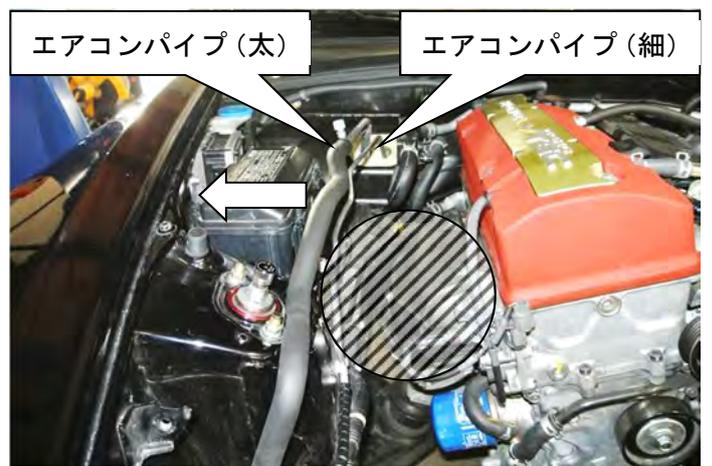
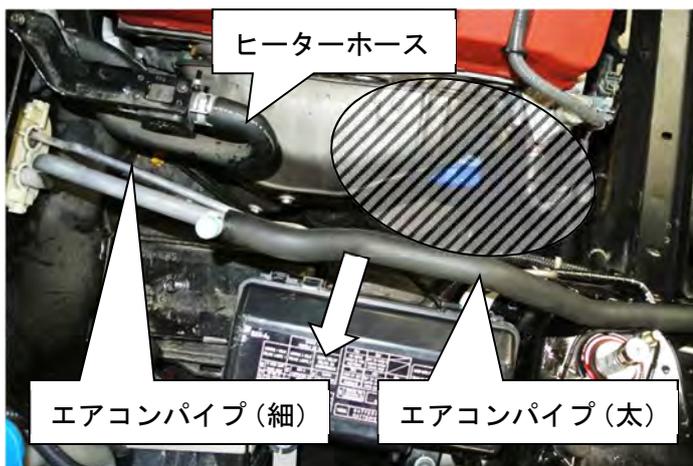
(25) SC 本体等の干渉を避ける為
エアコンパイプ (太) の①部を支点にして
②部を矢印の方向に持ち上げて
ストラットタワーの上にくるように曲げ加工する。



(26) SC 本体等の干渉を避ける為、エアコンパイプ (太) エアコンパイプ (細) が
ボディ等他部品と干渉が無いことを確認しながら矢印の方向に曲げ加工し、斜線部のスペースを確保する。

アドバイス

・必要に応じて、エアコンパイプ (太・細) ・ヒーターホースに遮熱対策を行う。



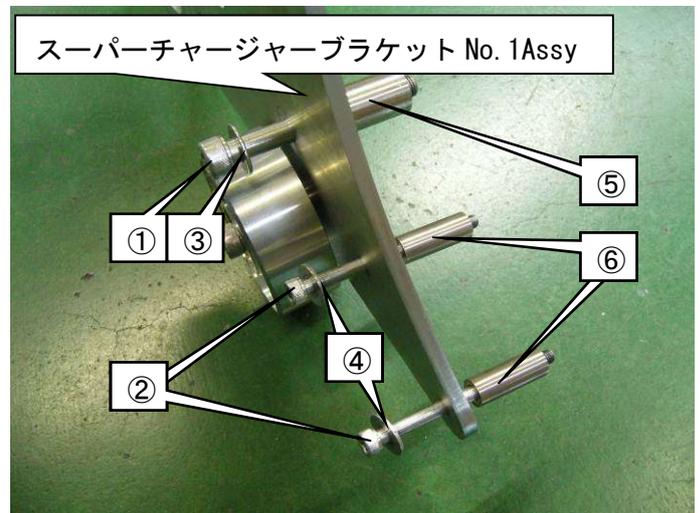
(27) スーパーチャージャーブラケット No. 1Assy を

- ①キャップボルト M10 L=80
- ②キャップボルト M6 L=80
- ③ワッシャ M10
- ④大径ワッシャ M6
- ⑤スペーサ M10 L=32
- ⑥スペーサ M6 L=32

を用い、エンジンに仮付けする。

本付け時締付けトルク N・m(kgf・m)

- ・ M10 T=44 (4.5)
- ・ M6 T=15 (1.5)



(28) スーパーチャージャーブラケット No. 1Assy を

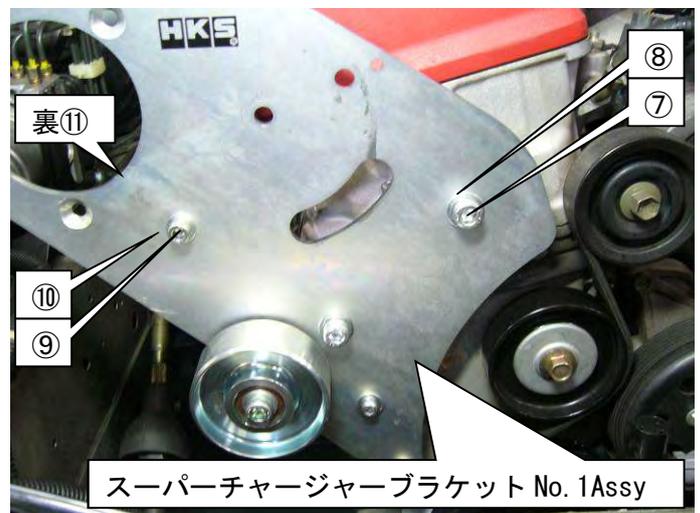
- ⑦キャップボルト M10 L=25 (P1.5)
- ⑧ワッシャ M10

を用い、

スーパーチャージャーブラケットNo.2 と仮付けする。

本付け時締付けトルク N・m(kgf・m)

T=44 (4.5)



(29) スーパーチャージャーブラケット No. 1Assy を

- ⑨キャップボルト M8 L=20
- ⑩ワッシャ M8
- ⑪フランジナット M8

を用い、

スーパーチャージャーブラケット No. 3 と仮付けする。

本付け時締付けトルク N・m(kgf・m)

T=24 (2.4)

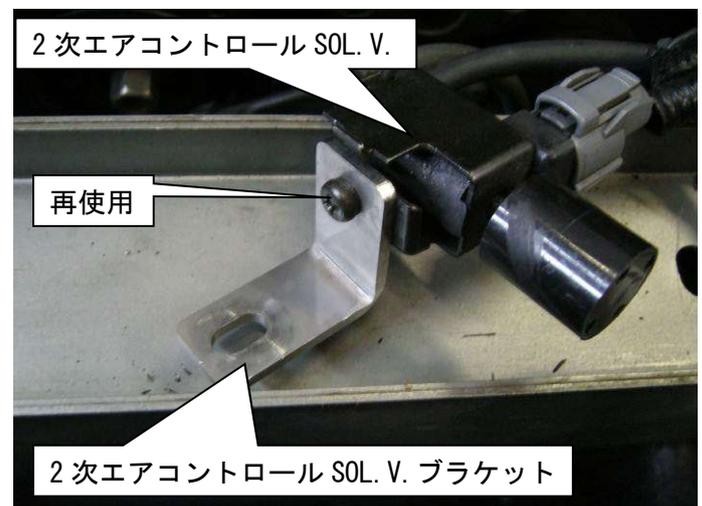
(30) スーパーチャージャーブラケット No. 1・スーパーチャージャーブラケット No. 2・

スーパーチャージャーブラケット No. 3 の仮付け部を、バランスを見ながら上記の締付けトルクで本付けする。

※(31)～(34) ワイヤースロットル仕様車両のみ

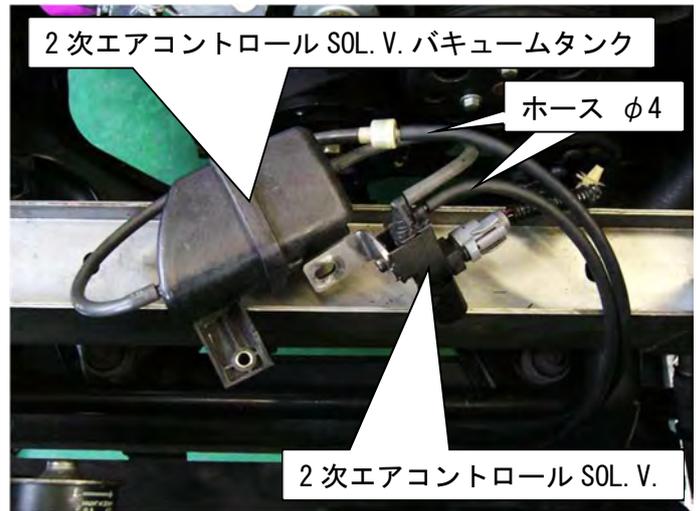
(31) 2次エアコントロール SOL.V. に

2次エアコントロール SOL.V. ブラケットを取付ける。



(32) 車両から 2 次エアコントロール SOL. V. バキュームタンクを取外す。

(33) ホース φ4 を半分 (L=500) に切断し、図のように 2 次エアコントロール SOL. V. バキュームタンクにそれぞれ接続する。



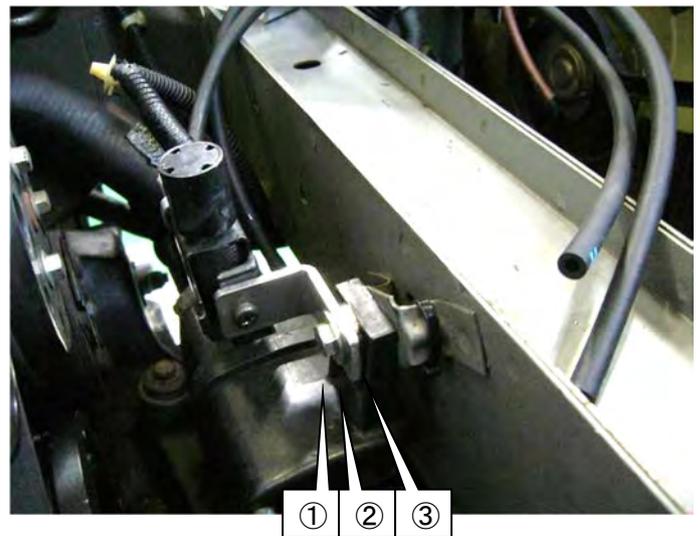
(34) 2 次エアコントロール SOL. V. バキュームタンクを

- ①六角ボルト M6 L=25
- ②大径ワッシャ M6
- ③スペーサ M6 L=3

を用いて、車両に取付ける。

アドバイス

- ・ホース・配線がクランクプーリー等の回転物に触れないようにタイラップを用いて固定する。



(35) ブリーザパイプ Assy を取外し、

- ①ジョイントパイプφ8 を用い、図のように接続する。

アドバイス

- ・ホースクリップは純正を再使用する。
- ・ブリーザパイプ Assy を取外すと冷却水が漏れる為、受け皿を用意する。

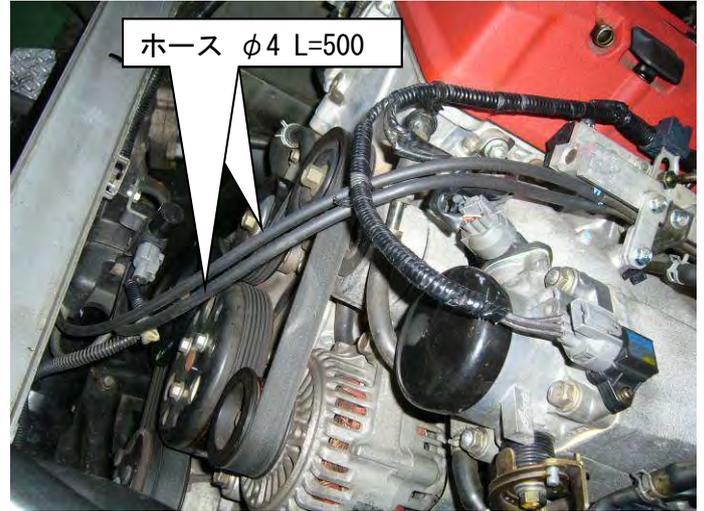


※(36)ワイヤースロットル仕様車両のみ

(36) 2次エアコントロール SOL. V. バキュームタンクに取付けたホース $\phi 4$ L=500 を、
図のようにエンジンに接続する。

アドバイス

- ・エンジン側上パイプに2次エアコントロール SOL. V. エンジン側下パイプにバキュームタンクのホースを接続する。



(37) ①ホース $\phi 8$ L=1000

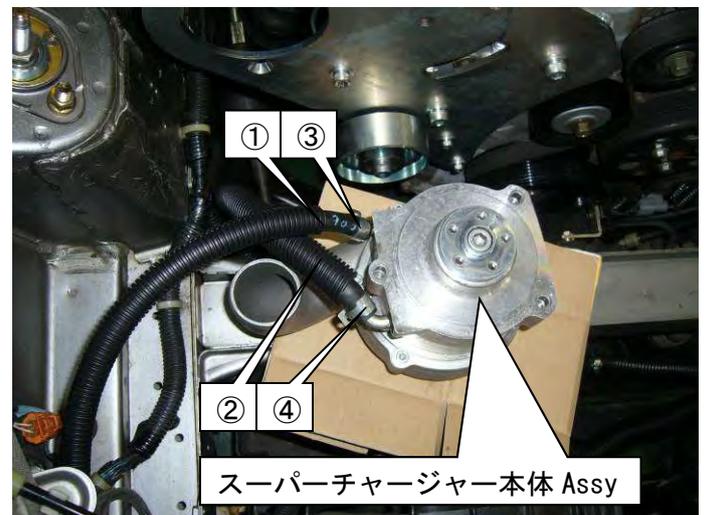
②ホース $\phi 10$ L=650 を

スーパーチャージャー本体 Assy から取外した

③ホースクリップ $\phi 8$ 用

④ホースクリップ $\phi 10$ 用

を用い、スーパーチャージャー本体 Assy に接続する。



(38) スーパーチャージャー本体 Assy を、

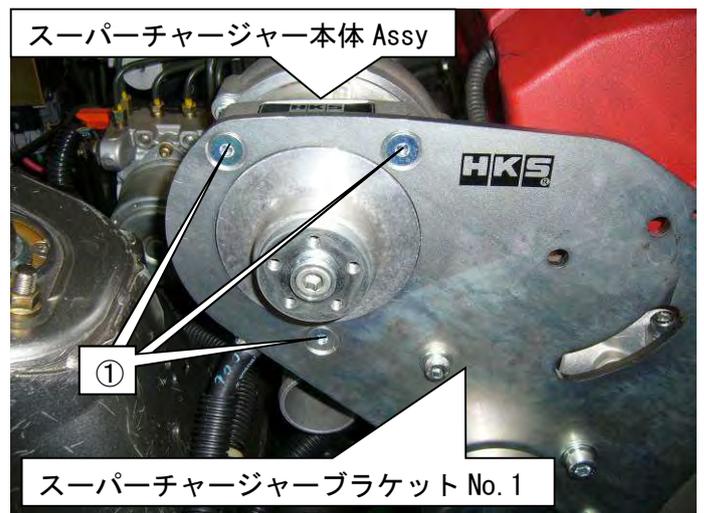
①皿ボルト M8 L=35

を用い、

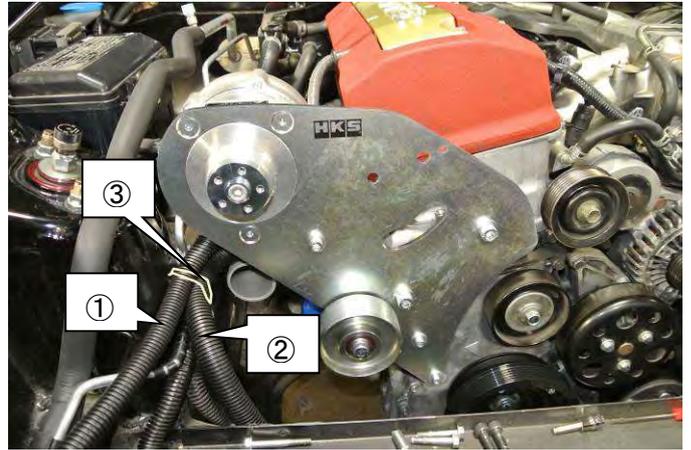
スーパーチャージャーブラケット No. 1 に取付ける。

締付けトルク N·m (kgf·m)

T=29 (3.0)



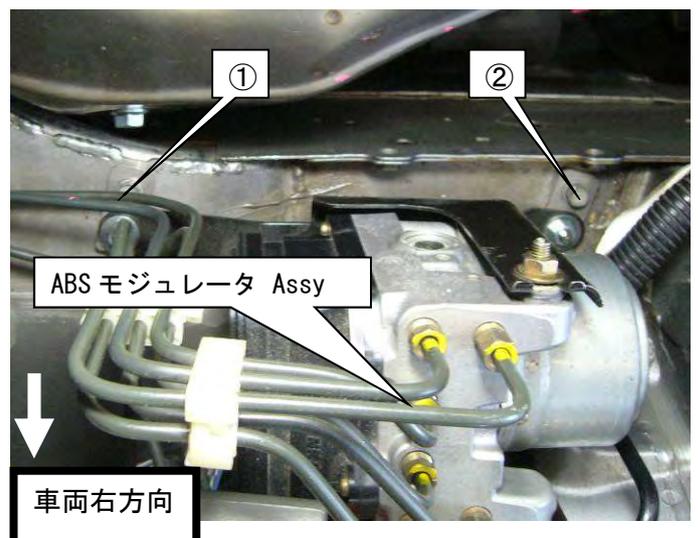
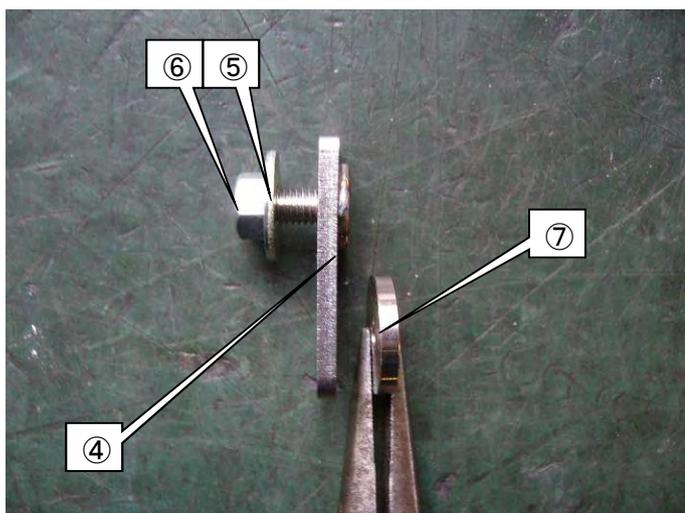
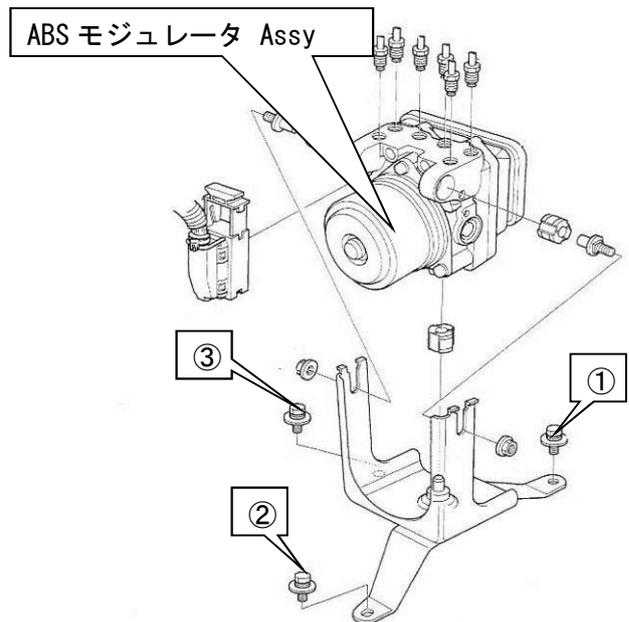
- (39) ①ホース φ8 L=1000
 ②ホース φ10 L=650
 の図の部分を、
 ③タイラップ大
 を用い、固定する。



※(40)～(41) JPN 車両のみ

- (40) ABS モジュレータ Assy の
 ①②③のボルトを取外す。

- (41) 取外した①②のボルト部に、
 ④ABS モジュレータブラケット
 ⑤大径ワッシャ M6
 ⑥ナット M6
 ⑦スペーサ M6 L=3
 を挟み、
 ①②のボルトで車両と固定し、
 ABS モジュレータ Assy を車両右方向に移動させる。



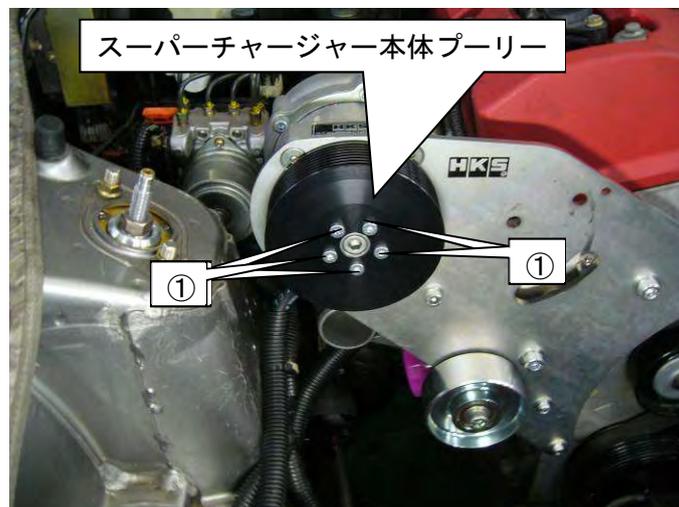
- (42) スーパーチャージャー本体プーリーを
 ①キャップボルト M6 L=12
 を用い、スーパーチャージャー本体 Assy に取付け
 る。

アドバイス

- ・キャップボルトへキサゴンの締付けの際、スーパーチャージャー本体 Assy のセンターが回らないように六角レンチ等で回り止めをする。

締付けトルク N・m(kgf・m)

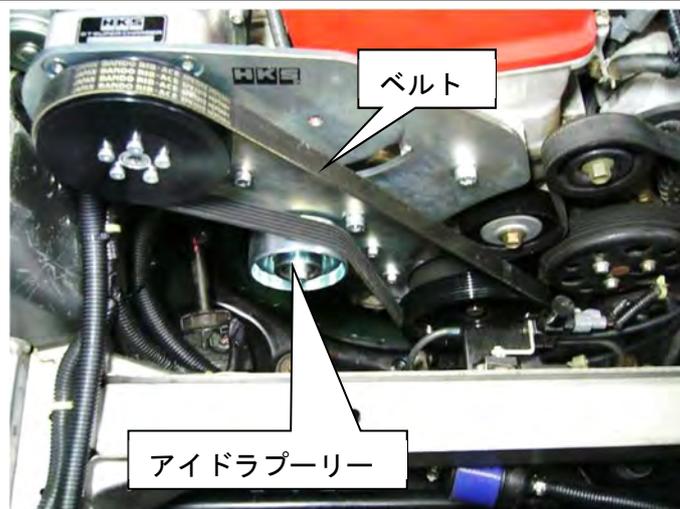
T=10(1.0)



- (43) 図のようにベルトを取付ける。

アドバイス

- ・スーパーチャージャー本体プーリーの8リブの溝の真ん中にベルトが来るようにする。
- ・ベルトを取り付ける際、ベルトを暖める、またはアイドラプーリーを取外すと取付けやすくなる。



- (44) サクションパイプ No. 2 とのクリアランスを確保する為、純正エキゾーストマニホールドカバーの斜線部分を2mm程度凹ませる。

- (45) 純正エキゾーストマニホールドマニホールドカバーを車両に取付ける。

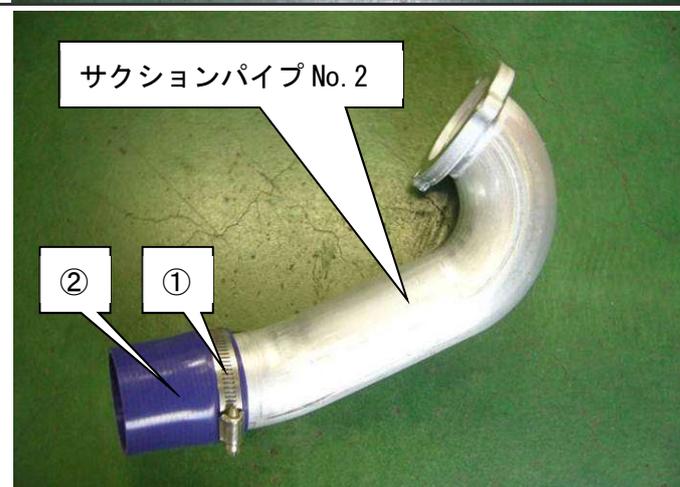
アドバイス

- ・純正エキゾーストマニホールドカバーを車両に取付ける際は、まず車両後方側4番ポートから取付け、そのあと車両前方側1番ポートを取付けるとスムーズに取付けができる。



- (46) サクションパイプ No. 2 に

- ①ホースバンド#36
を用い、
- ②シリコンホース φ60 L=70
を取付ける。

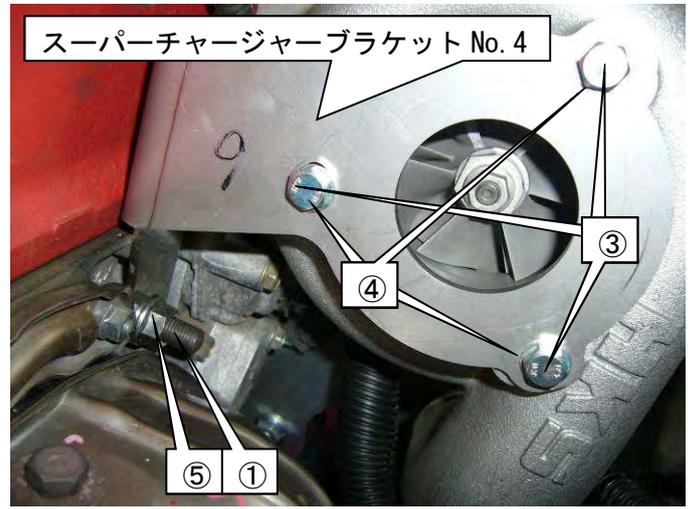


(47) エンジンに

- ①スタッドボルト M10 10-6-20
を取付ける。

アドバイス

- ・スタッドボルト M10 10-6-20 には向きがある為、ネジ部の短いほうをエンジン側に取付ける。



(48) スーパーチャージャーブラケット No. 4 を

- ②サクションパイプガasket
- ③六角ボルト M6 L=15
- ④ワッシャ M6

を用い、スーパーチャージャー本体 Assy に仮付けする。

アドバイス

- ・スーパーチャージャーブラケット No. 4 は、リストリクタを兼ねている為、下表を参考に車両の仕様に合わせて、選定を行う必要がある。

仕様	リストリクタ径
JPN 純正燃料パーツ（燃料ポンプ・インジェクタ）仕様	φ37.5（本製品同封）
JPN HKS Fuel Upgrade Kit装着仕様	φ44（Fuel Upgrade Kit同封）
USA 燃料パーツ強化仕様	φ58（本製品同封）

※電子制御スロットル仕様車両は純正燃料パーツに余裕がなく、スーパーチャージャーの性能を発揮するためには燃料強化パーツを装着する必要がある。HKS Flash Editorのプリセットセッティングデータを使用する際はHKS Fuel Upgrade Kitを装着し、φ44のリストリクタ径を選定する。

⚠ 注意

・リストリクタにより、出力の調整を行っています。装着する車両の仕様に合わせてリストリクタ内径を選定してください。意図しない出力となり、エンジンが破損する可能性があります。

(49) 仮付けしたスーパーチャージャーブラケット No. 4 を

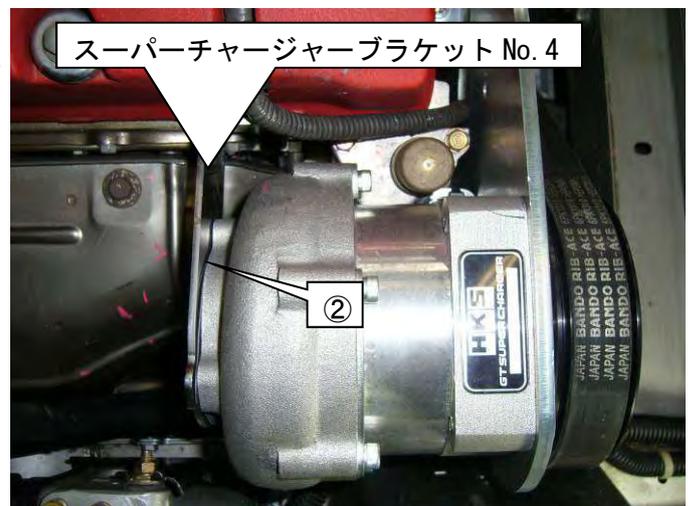
- ⑤フランジナット M10（セレート有）
を用い、エンジンに取付ける。

(50) スーパーチャージャーブラケット No. 4 から

- 仮付けした際に使用した
- ③六角ボルト M6 L=15
- ④ワッシャ M6
を取外す。

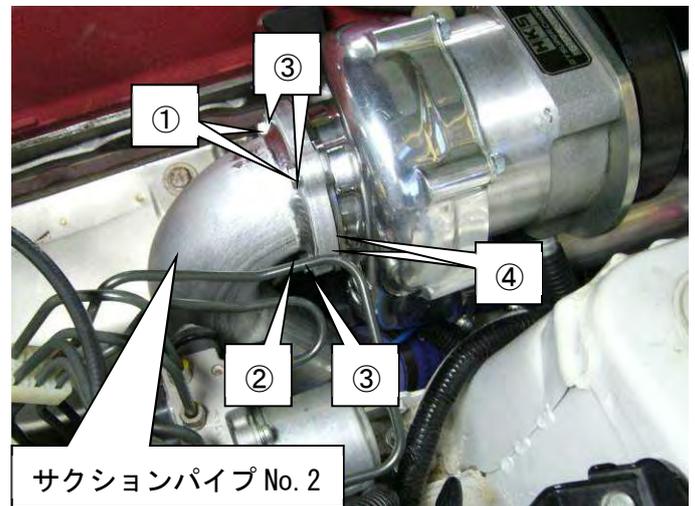
アドバイス

- ・③六角ボルト M6 L=15・④ワッシャ M6 は再使用する。



(51) サクションパイプ No. 2 を

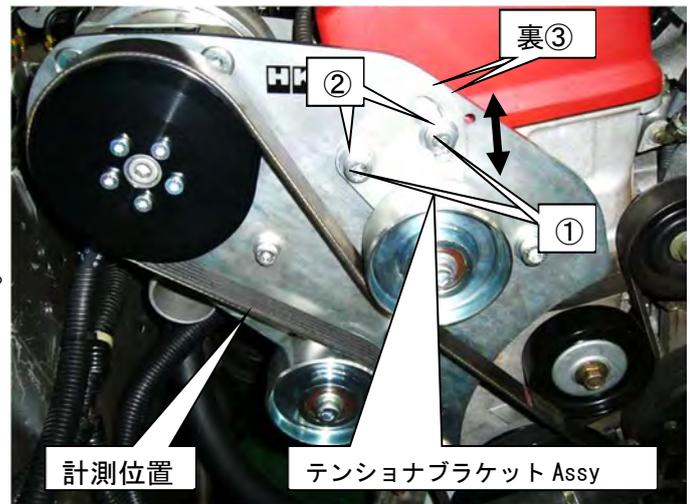
- ①六角ボルト M6 L=25
 - ②六角ボルト M6 L=20
 - ③ワッシャ M6
 - ④サクションパイプガスケット
- を用い、スーパーチャージャー本体に取付ける。



(52) テンショナブラケット Assy を

- ①キャップボルト M10 L=25 (P=1.25)
 - ②ワッシャ M10
 - ③フランジナット M10 (セレート無)
- を用い、スーパーチャージャーブラケット No. 1 Assy に取付ける。

(53) テンショナブラケット Assy を上下させ、指定張力でベルトを張る。



計測位置	ベルトスパン※	指定張力 (N { kgf })
スーパーチャージャー本体プーリー・アイドラプーリー間	200mm	720 { 73.4 }

※ベルトスパンは張力測定時に測定器に入力してください。

※ベルトの比重 14.5g/(1リブ × 1m長さ)

アドバイス

- ・ベルトの張力測定は冷間時に行う。
- ・ベルト取付け直後の張り点検は、基準値に調整後プーリー間張力のバラツキをなくす為、クランクシャフトを2回転以上回して再測定し、基準値に調整する。
- ・ベルトは使用開始後、使用状況により2~20時間で張力が安定するため指定張力になるように必ず点検・調整を行なう。使用開始直後はベルトの伸びも大きい為、こまめに点検、調整を行なう。
- ・ベルトが各プーリーの溝にしっかり合っているか確認する。

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=44 (4.5)

(54) ホースφ12 を 680mm に切断する。

(55) 切断したホースφ12 を

①ホースクリップ φ12 用

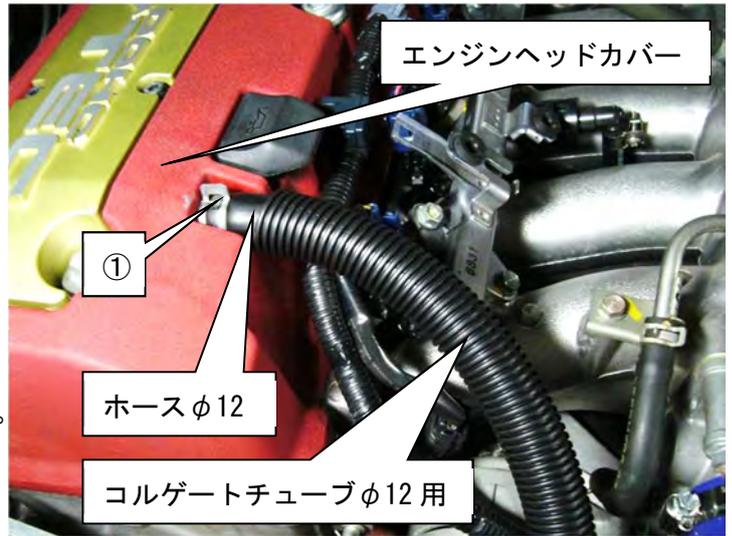
を用い、エンジンヘッドカバーに取付ける。

アドバイス

- ・ホースクリップは潤滑剤を使用し、あらかじめエンジンヘッドカバーに通しておくこと取付けやすくなる。

(56) コルゲートチューブ φ12 用を 630mm に切断する。

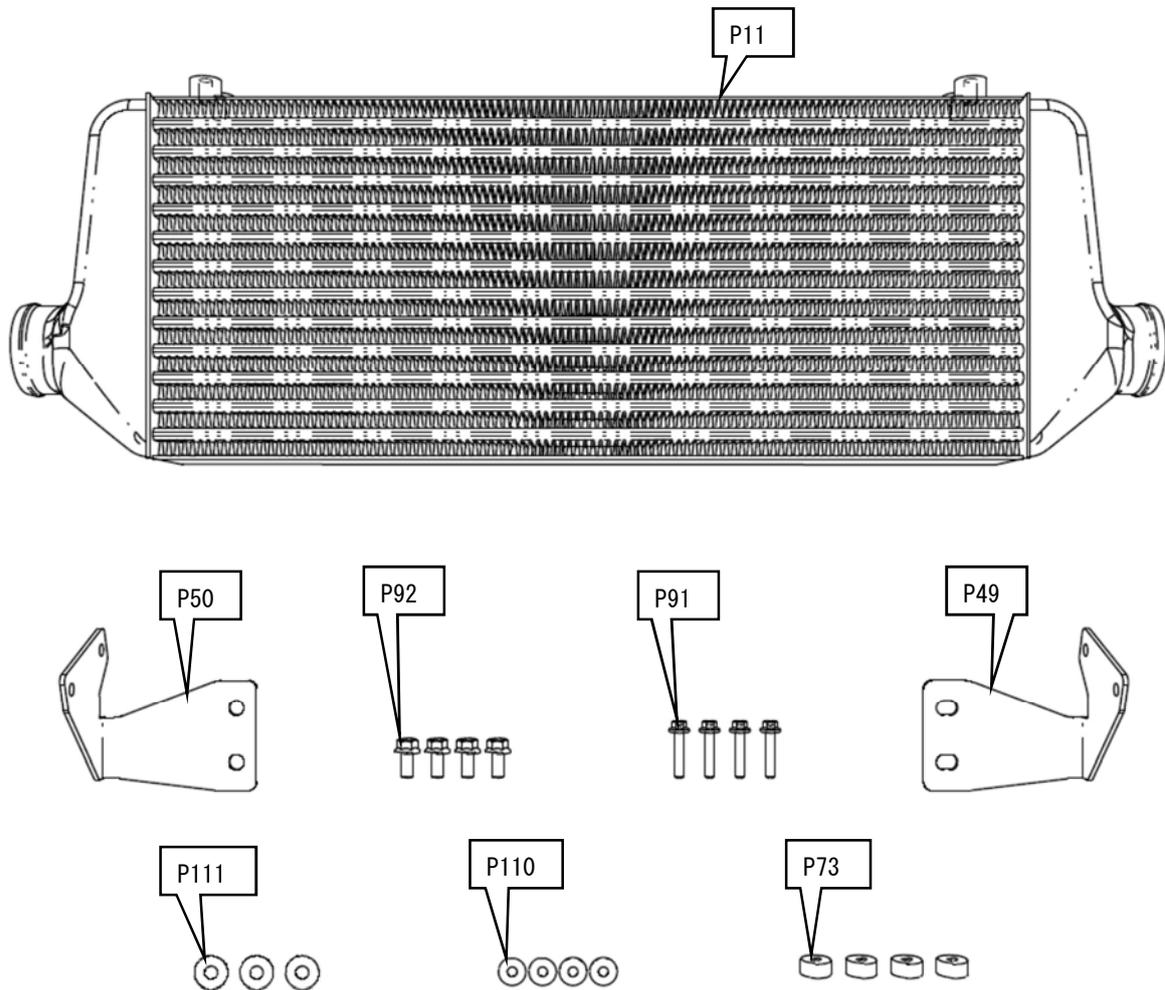
(57) 切断した、コルゲートチューブ φ12 用を
ホースφ12 に取付ける。



4. インタークーラー・パイピング取付け

・インタークーラー取付け

パーツリスト



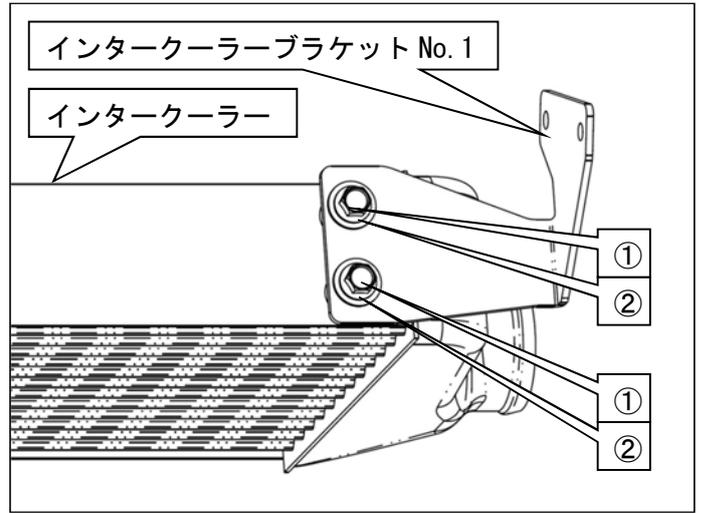
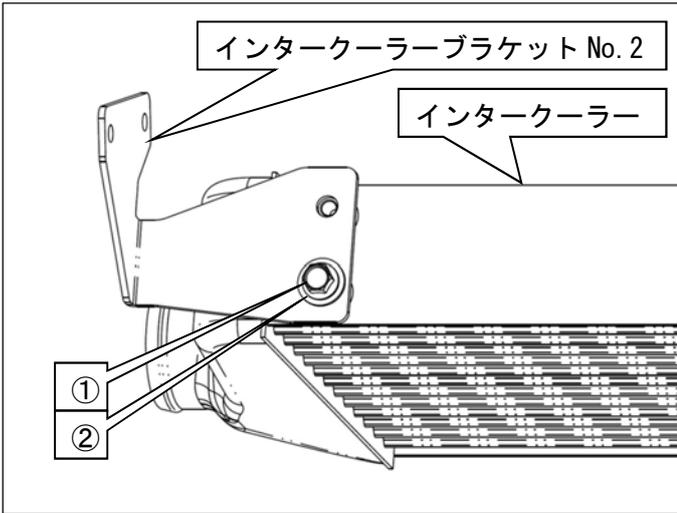
No.	品名	数量
P11	インタークーラー	1
P49	インタークーラーブラケット No. 1	1
P50	インタークーラーブラケット NO. 2	1
P73	スペーサ M6 L=10	4
P91	フランジボルト M6 L=30	4
P92	フランジボルト M8 L=16	4
P110	大径ワッシャ M6	4
P111	大径ワッシャ M8	3

(1) インタークーラーに

①フランジボルト M8 L=16

②大径ワッシャ M8

を用い、インタークーラーブラケット No. 1/No. 2 を仮付けする。



(2) インタークーラーAssy を

①フランジボルト M6 L=30

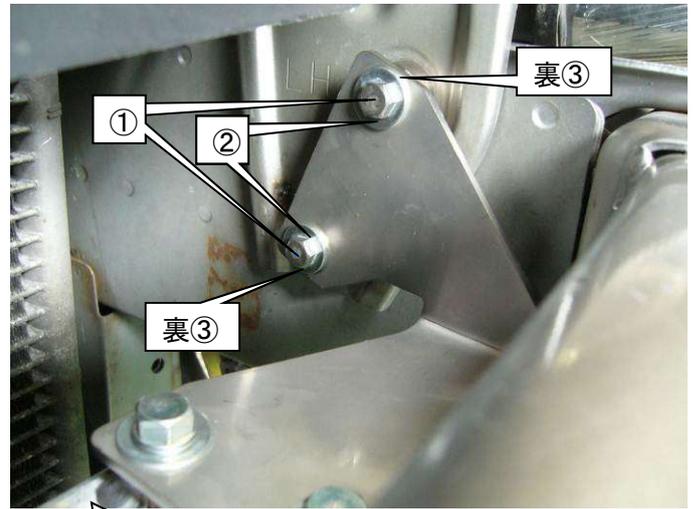
②大径ワッシャ M6

③スペーサ M6 L=10

を用い、車両に取付ける。

アドバイス

- ・インタークーラーAssy とエアコンパイプが干渉する場合は、干渉しないようにエアコンパイプを曲げる。



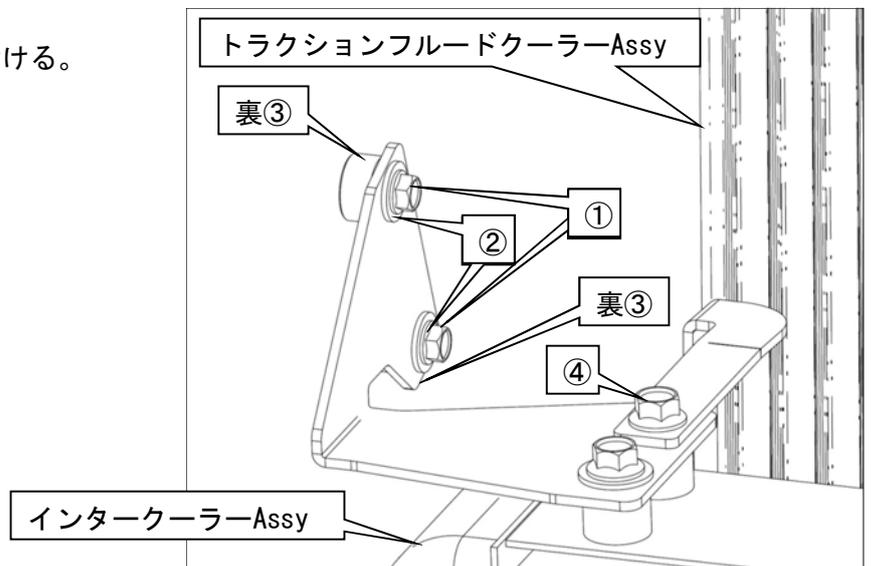
(3) (1) で仮付けしたボルトを本付けする。

インタークーラーAssy

(4) トラクションフルードクーラーAssy を

④フランジボルト M8 L=16

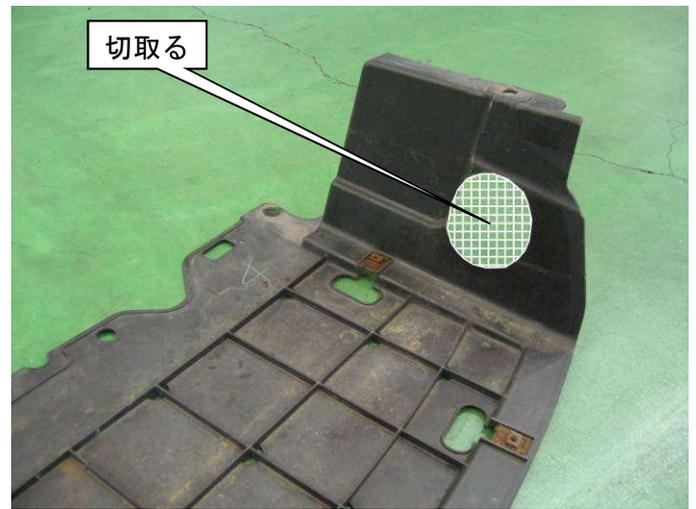
を用い、インタークーラーAssy に取付ける。



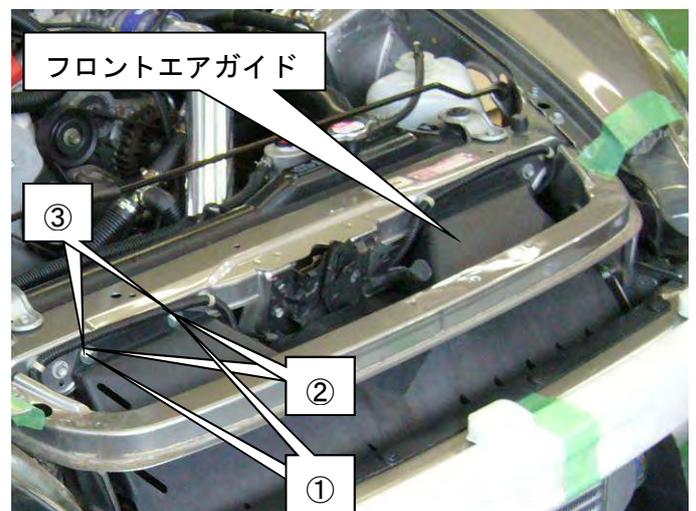
インタークーラーAssy

(5) フロントアンダカバーの図の斜線部分を
インタークーラーと干渉しないように左右共に切
取る。

(6) フロントアンダカバーを車両に取付ける。

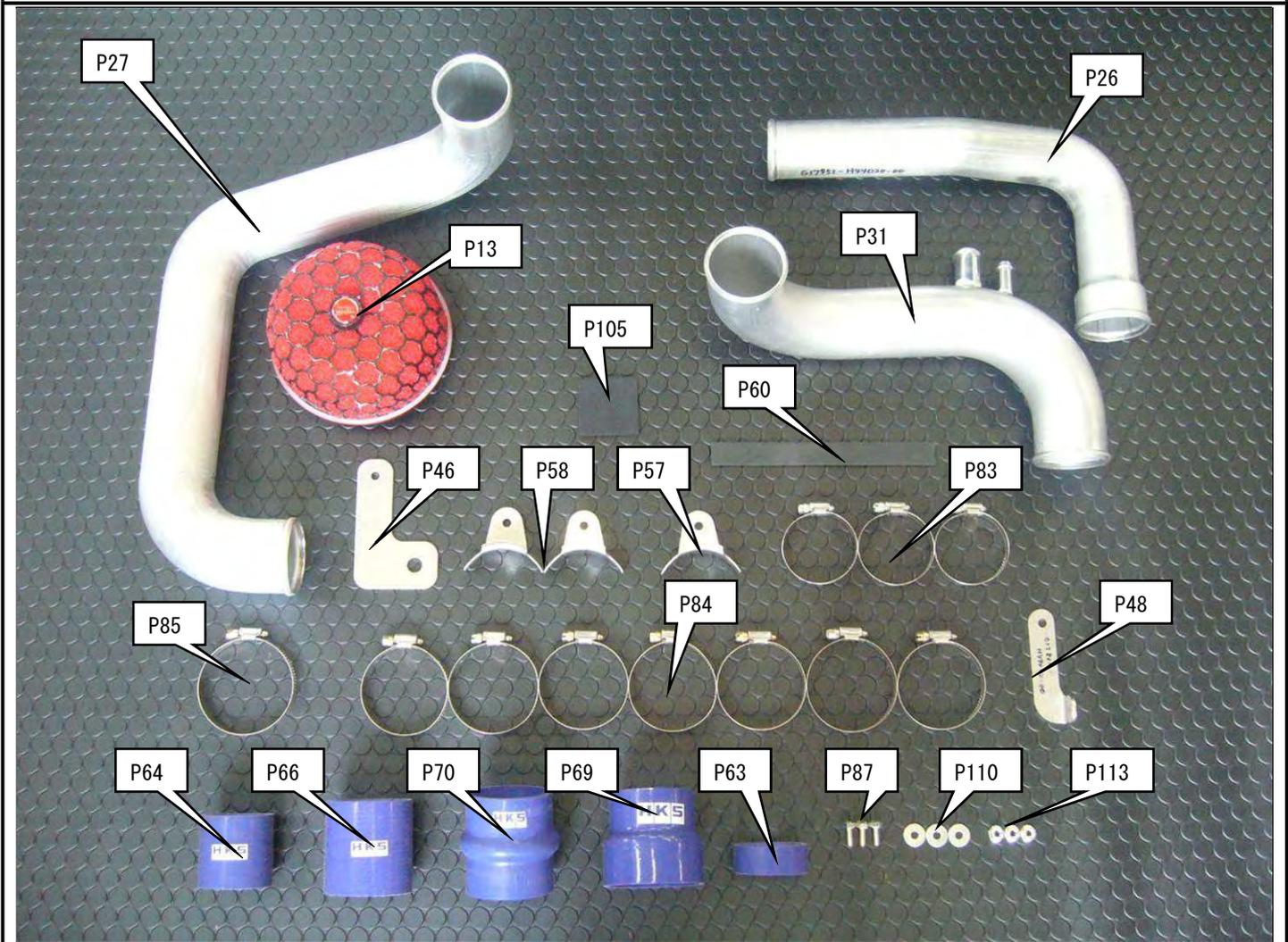


(7) 仮付けしたトラクションフルードクーラーAssy の
①六角ボルト M6 L=25
②大径ワッシャ M6
③スペーサ M6 L=4
を外し、
フロントエアガイドを取付けた後に再度取付ける。



・インタークーラーインレットパイプ取付け

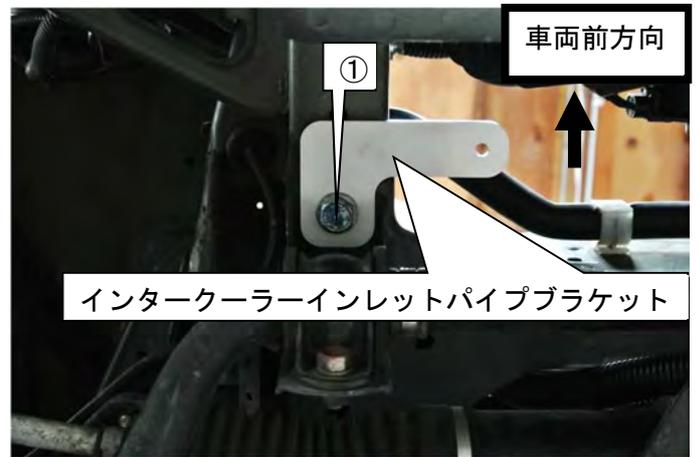
パーツリスト



No.	品名	数量
P13	スーパーパワーフロー	1
P26	インタークーラーインレットパイプ No. 1	1
P27	インタークーラーインレットパイプ No. 2	1
P31	サクションパイプ No. 1	1
P46	インタークーラーインレットパイプブラケット	1
P48	サクションパイプブラケット	1
P57	汎用パイプブラケット φ50 用	1
P58	汎用パイプブラケット φ60 用	2
P60	インシュレータラバー	1
P63	シリコンホース φ50 L=20	1
P64	シリコンホース φ50 L=55	1
P66	シリコンホース φ60 L=70	1
P69	異径シリコンホース φ60-φ70	1
P70	クッションホース φ60 L=75	1

P83	ホースバンド #28	3
P84	ホースバンド #36	7
P85	ホースバンド #40	1
P87	六角ボルト M6 L=15	3
P110	大径ワッシャ M6	3
P113	フランジナット M6	3
P105	スポンジシート	1

- (8) インタークーラーインレットパイプブラケットを
①純正スタビライザーブラケット固定ボルト
に、共締めする。



- (9) ラジエーターファンシュラウドの図の斜線部分を
切取る。

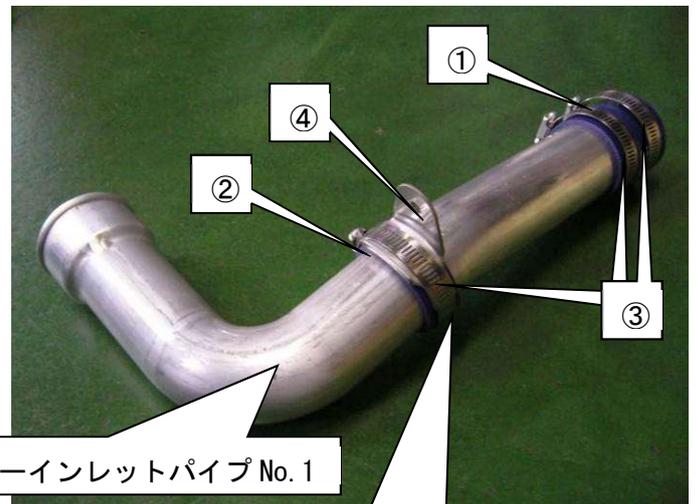


- (10) インタークーラーインレットパイプ No. 1 に

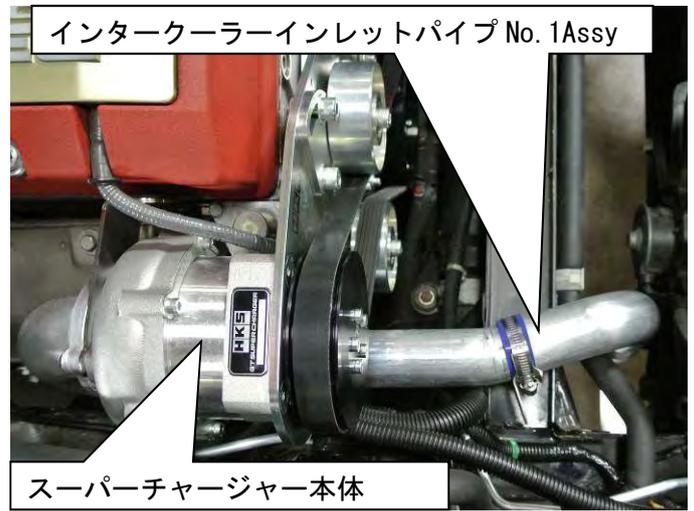
- ①シリコンホース φ50 L=55
 - ②シリコンホース φ50 L=20
 - ③ホースバンド #28
 - ④汎用パイプブラケットφ50用
- を仮付けする。

アドバイス

- ・汎用パイプブラケットφ50用は
図内の向きに取付けると作業がしやすくなる。



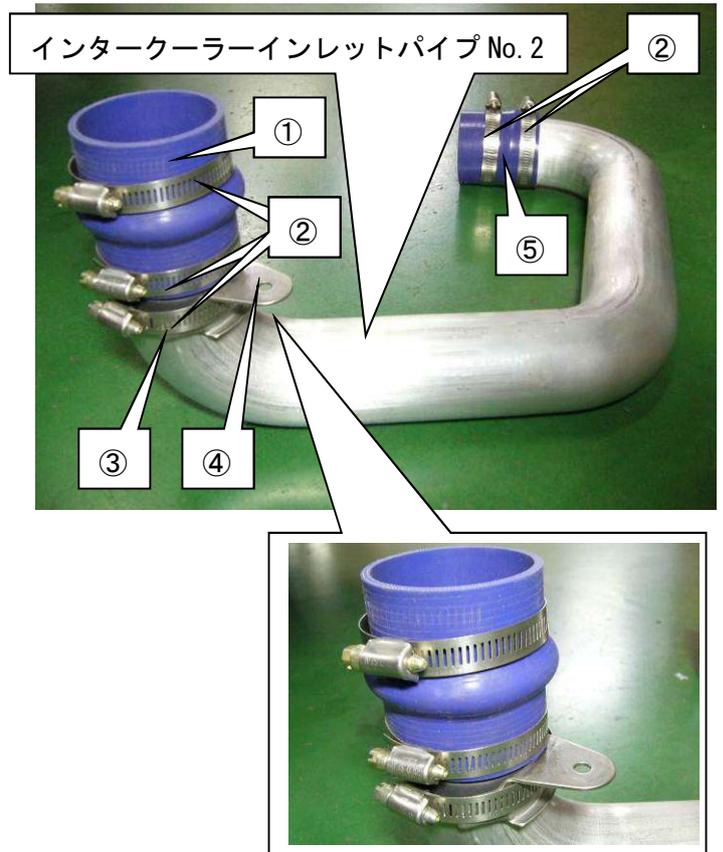
(11) インタークーラーインレットパイプ No. 1 Assy を
スーパーチャージャー本体に仮付けする。



(12) インタークーラーインレットパイプ No. 2 に
①クッションホース φ60 L=75
②ホースバンド #36
③インシュレータラバー
④汎用パイプブラケット φ60 用
⑤シリコンホース φ60 L=70
を仮付けする。

アドバイス

・汎用パイプブラケットφ60用は図内の向きに
取付けると作業がしやすくなる。



(13) インタークーラーインレットパイプ No. 2Assy を車両に仮付けする。

(14) インタークーラーインレットパイプ No. 2Assy を

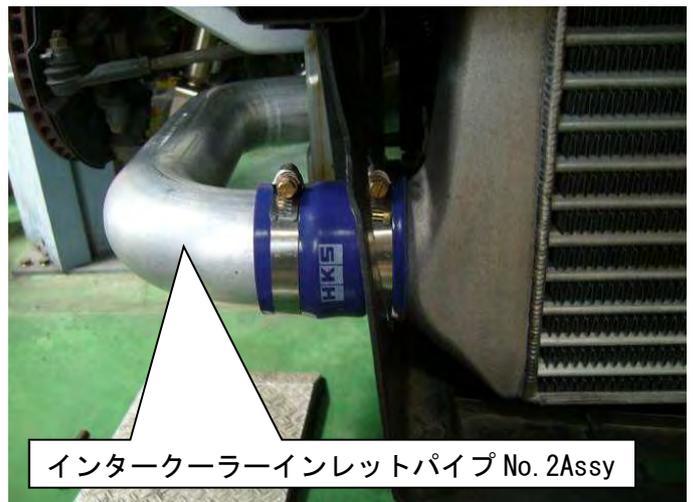
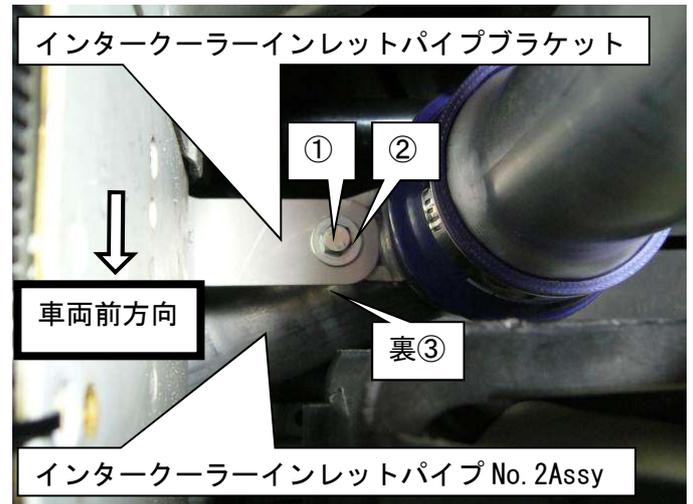
①六角ボルト M6 L=15

②大径ワッシャ M6

③フランジナット M6

を用い、

インタークーラーインレットパイプブラケット
に仮付けする。



(15) インタークーラーインレットパイプ No. 1/No. 2 の位置出しをして、
仮付けしたボルト・ホースバンドを本締めする。

アドバイス

・取付けたパイプが車両と干渉していないか確認する。

(16) インナフェンダ R の図の斜線部分をパイプと干渉しないように切取る。

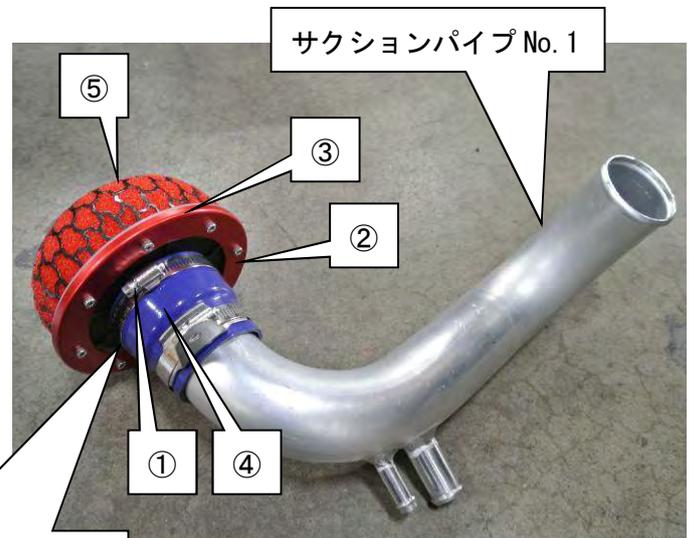


(17) サクションパイプ No. 1 に

- ① 異径シリコンホース φ60-φ70
- ② ホースバンド#36
- ③ ホースバンド#40
- ④ 汎用パイプブラケットφ60用
を用い、
- ⑤ スーパーパワーフロー
を仮付けする。

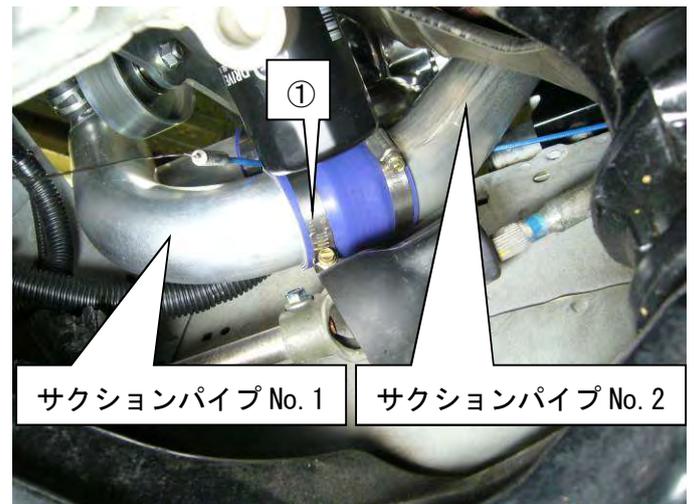
アドバイス

- ・ 汎用パイプブラケットφ60用は
図内の向きに取付けると作業がしやすくなる。



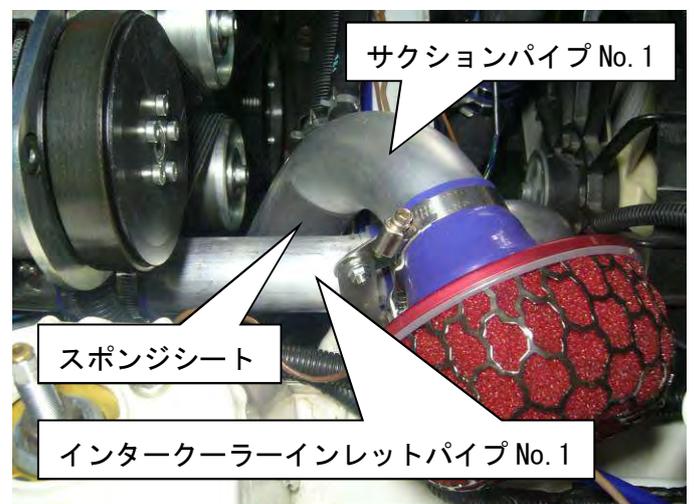
(18) サクションパイプ No. 1 を

- ① ホースバンド#36
を用い、
サクションパイプ No. 2 に取付ける。



(19) サクションパイプ No. 1 と

- インタークーラーインレットパイプ No. 1 の接近
部分にスポンジシートを貼り付ける。



(20) サクションパイプ No. 1Assy を

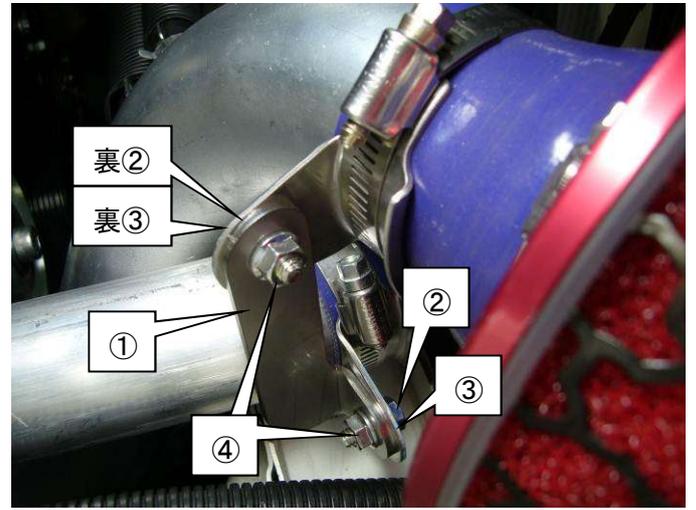
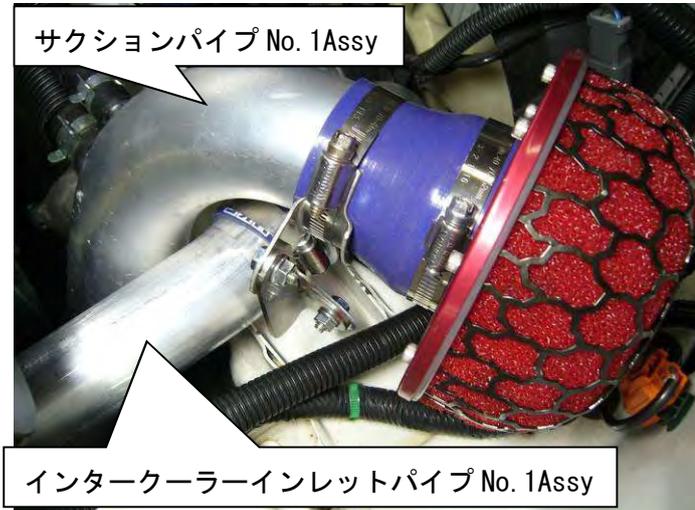
① サクションパイプブラケット

② 六角ボルト M6 L=15

③ 大径ワッシャ M6

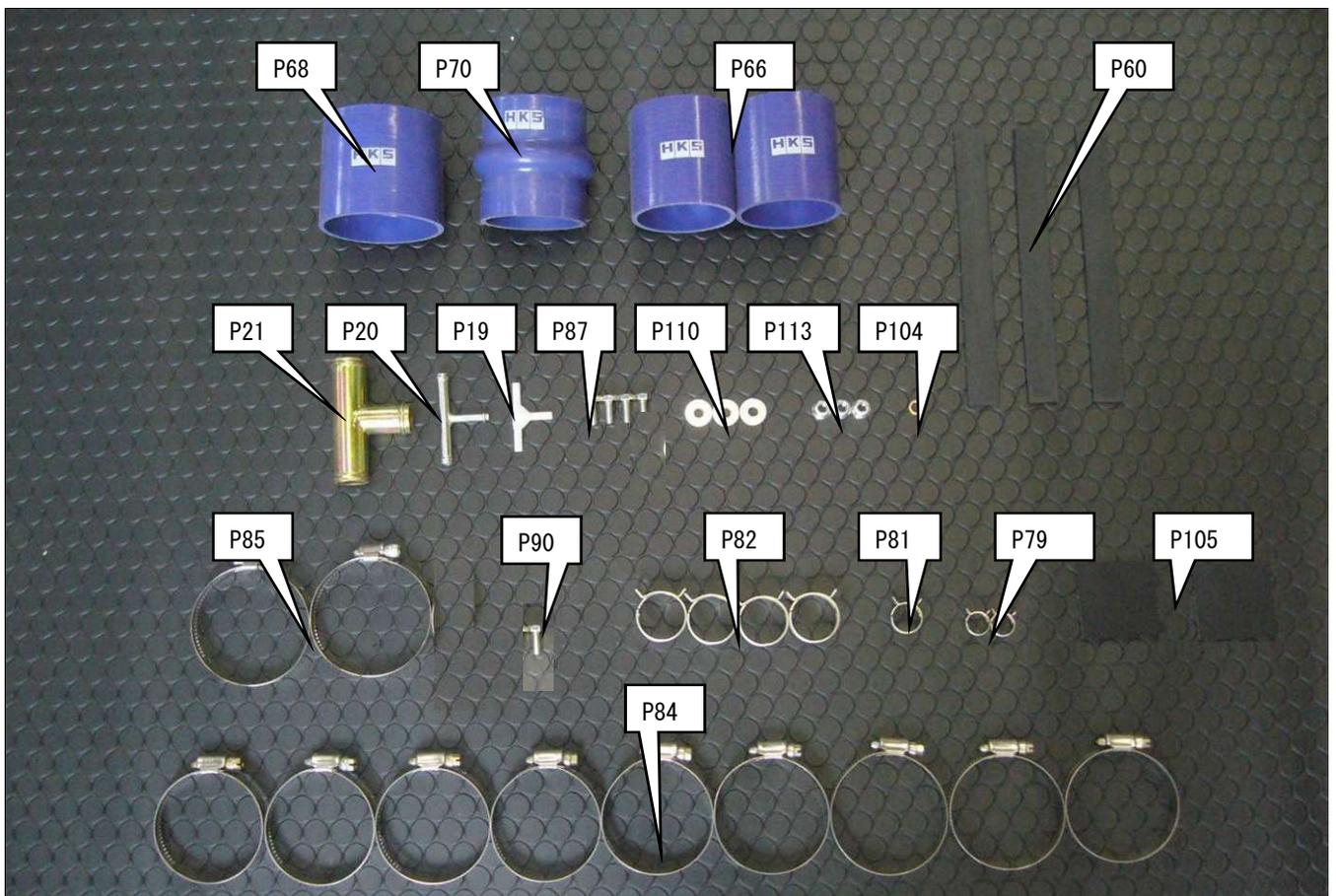
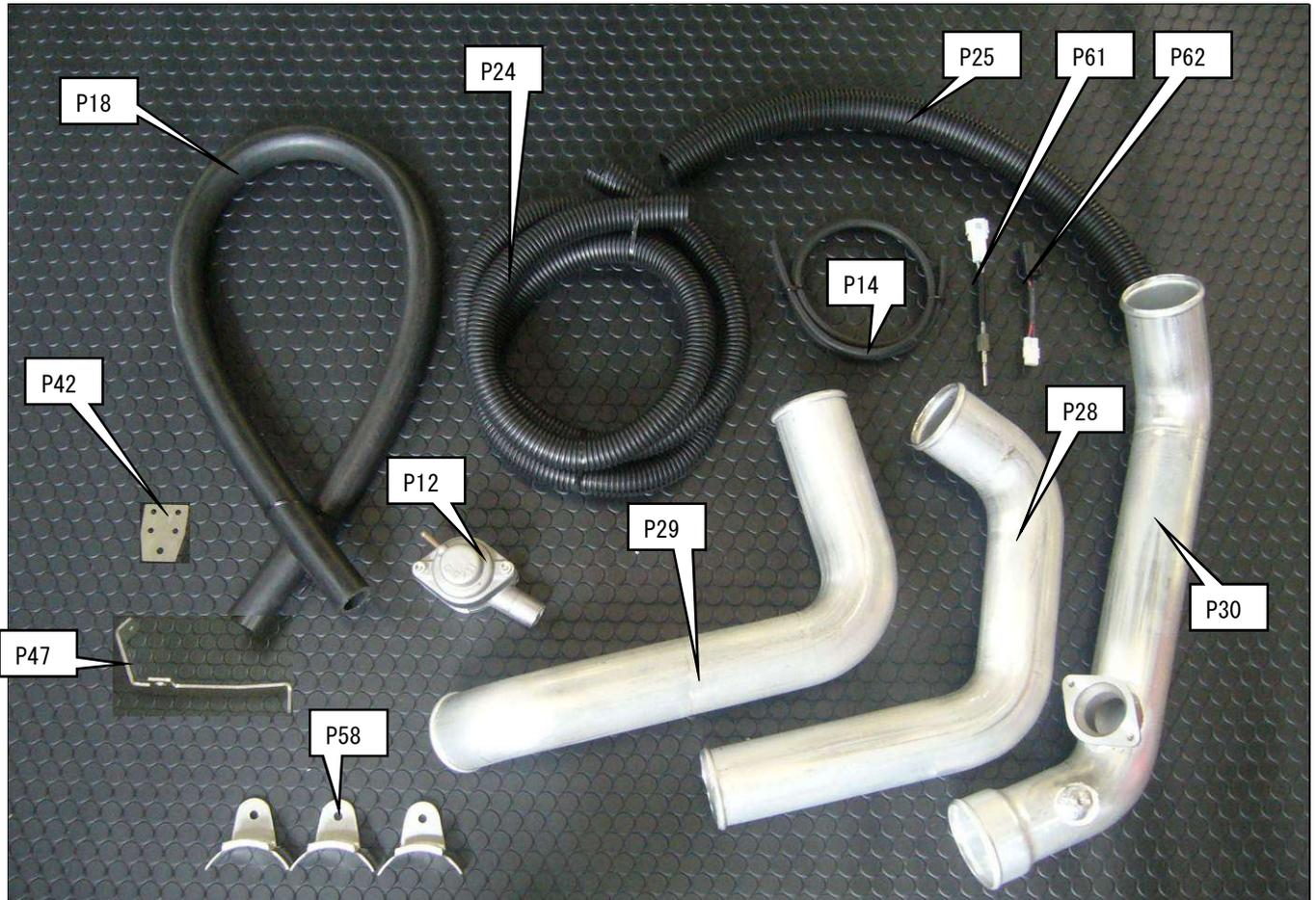
④ フランジナット M6

を用い、インタークーラーインレットパイプ No. 1Assy に取付ける。



・インタークーラーアウトレットパイプ取付け

パーツリスト



No.	品名	数量
P12	リリーフバルブ Assy	1
P14	ホース φ4	1
P15	ホース φ8	1 (再使用)
P18	ホース φ22	1
P19	スリーウェイ φ4-φ4-φ4	1
P20	スリーウェイ φ8-φ4-φ8	1
P21	スリーウェイ φ22-φ19-φ22	1
P24	コルゲートチューブ φ12 用	1 (再使用含)
P25	コルゲートチューブ φ22 用	1
P28	インタークーラーアウトレットパイプ No. 1	1
P29	インタークーラーアウトレットパイプ No. 2	1
P30	インタークーラーアウトレットパイプ No. 3	1
P42	トラクションフルードフィルタブラケット	1
P47	インタークーラーアウトレットパイプブラケット	1
P58	汎用パイプブラケット φ60 用	3
P60	インシュレータラバー	3
P61	吸気温センサ	1
P62	吸気温センサハーネス	1
P66	シリコンホース φ60 L=70	2
P68	シリコンホース φ70 L=70	1
P70	クッションホース φ60 L=75	1
P79	ホースクリップ φ8 用	2
P81	ホースクリップ φ12 用	1
P82	ホースクリップ φ22 用	4
P84	ホースバンド #36	9
P85	ホースバンド #40	2
P87	六角ボルト M6 L=15	3 (再使用含)
P90	六角ボルト M8 L=15	1
P104	銅ワッシャ M8	1
P110	大径ワッシャ M6	3
P113	フランジナット M6	3
P105	スポンジシート	2

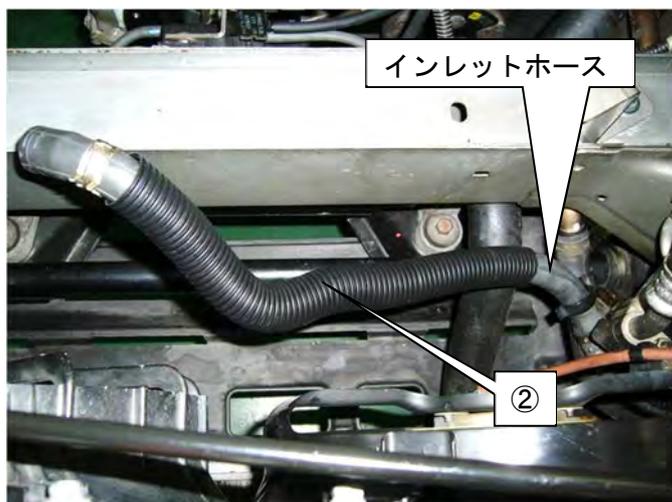
※(21)～(24)ワイヤースロットル仕様車両のみ

(21) コルゲートチューブ φ12 用を
350mm・250mm に切断する。

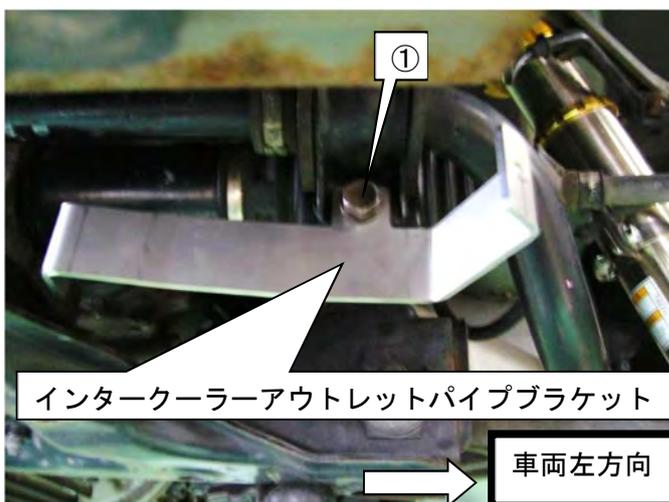
(22) ①コルゲートチューブ φ12 用 L=250
②コルゲートチューブ φ12 用 L=350
を2次エアポンプのインレットホースに取付ける。

(23) 2次エアポンプのアウトレットホースを
図のようにインレットホースクランプに固定する。

(24) 2次エアポンプのインレットホースを
図のようにレイアウトする。



(25) インタークーラーアウトレットパイプブラケットを
①純正スタビライザーブラケット固定ボルト
に、共締めする。



※(26) ワイヤースロットル仕様車両のみ

- (26) 2次エアポンプハーネスがパイプと干渉しないように
①タイラップ 小
を用い、固定する。

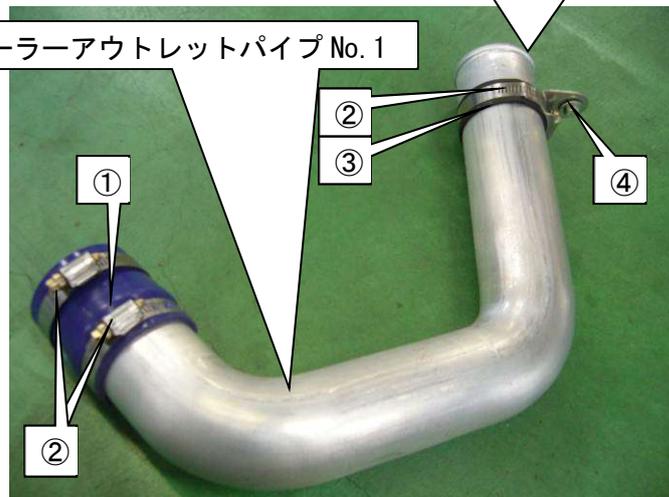


(27) インタークーラーアウトレットパイプ No. 1 に

- ①シリコンホース $\phi 60$ L=70
 - ②ホースバンド #36
 - ③インシュレータラバー
 - ④汎用パイプブラケット $\phi 60$ 用
- を仮付けする。



インタークーラーアウトレットパイプ No. 1



(28) インタークーラーアウトレットパイプ No. 2 に

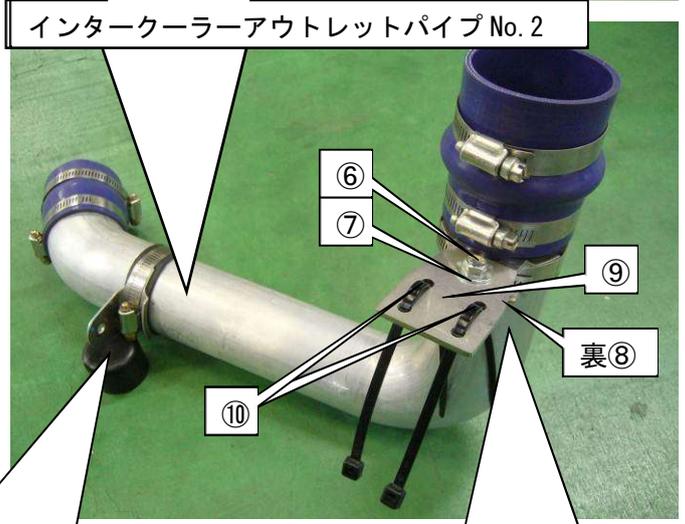
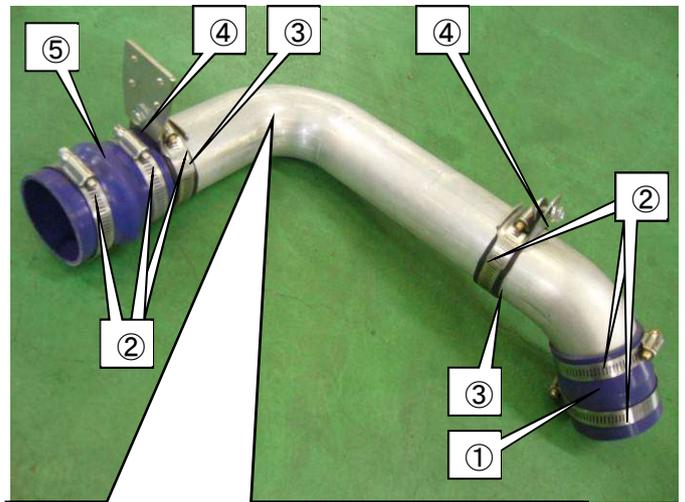
- ①シリコンホース φ60 L=70
 - ②ホースバンド #36
 - ③インシュレータラバー
 - ④汎用パイプブラケット φ60 用
 - ⑤クッションホース φ60 L=75
- を仮付けする。

(29) インタークーラーアウトレットパイプ No. 2 に

- ⑥六角ボルト M6 L=15
 - ⑦大径ワッシャ M6
 - ⑧フランジナット M6
 - ⑨トラクションフルードフィルタブラケット
- を仮付けし、
- ⑩タイラップ 大
- を仮付けする。

アドバイス

- ・汎用パイプブラケットφ60用は
図内の向きに取付けると作業がしやすくなる。

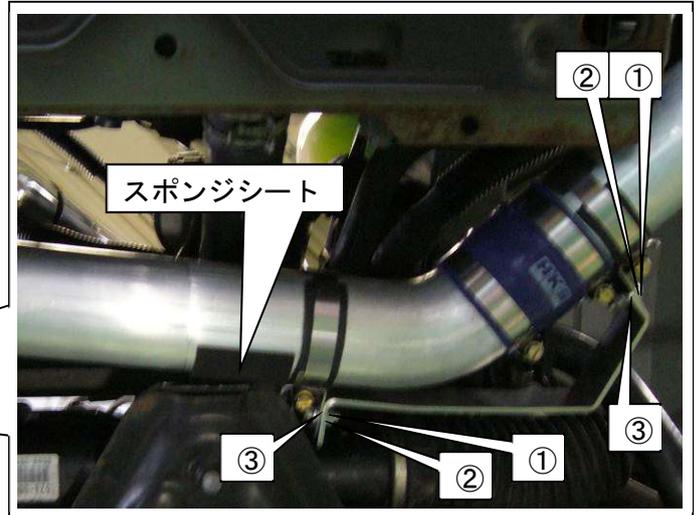
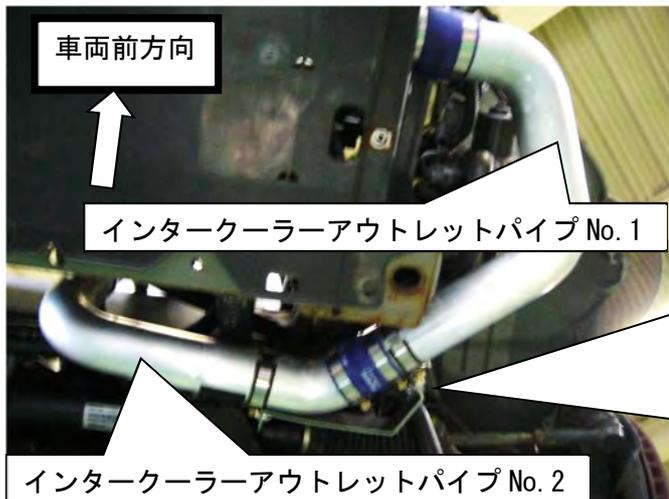


(30) インタークーラーアウトレットパイプ No. 1/No. 2 を

- ①六角ボルト M6 L=15
- ②大径ワッシャ M6
- ③フランジナット M6

を用い、車両に仮付けする。

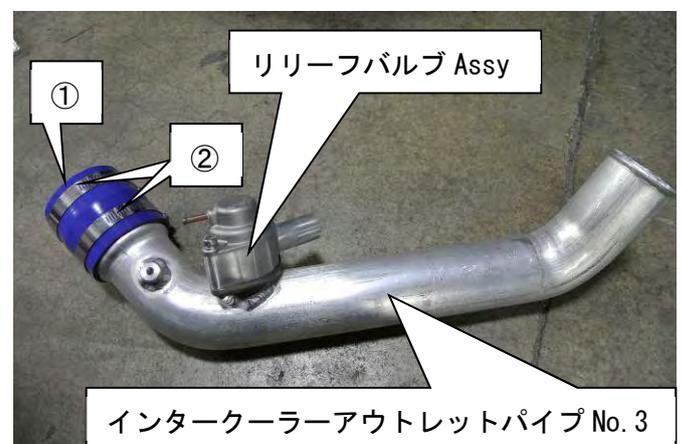
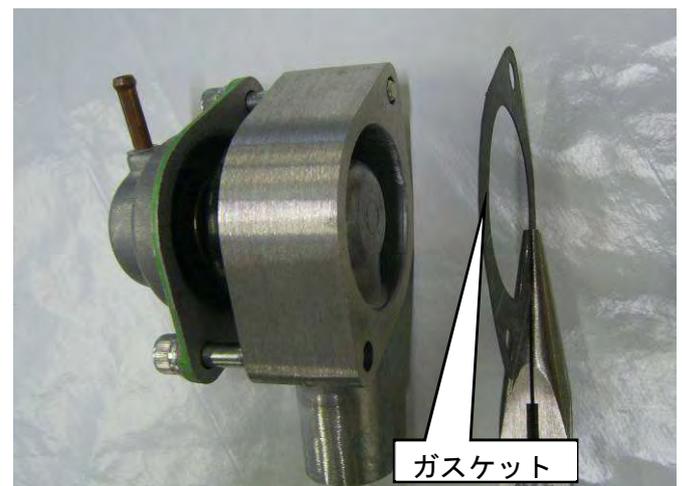
(31) インタークーラーアウトレットパイプ No. 2 とサスメンバーの接近部分にスポンジシートを貼り付ける。



(32) リリーフバルブ Assy 内のガスケットを間に挟み、インタークーラーアウトレットパイプ No. 3 にリリーフバルブ Assy を取付ける。

(33) インタークーラーアウトレットパイプ No. 3 に

- ①シリコンホース $\phi 70$ L=70
 - ②ホースバンド #40
- を仮付けする。



※(34)～(36) ワイヤースロットル仕様車両のみ

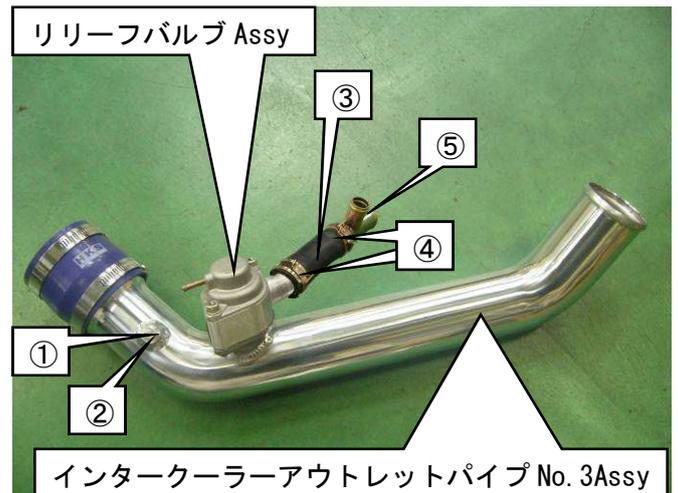
(34) インタークーラーアウトレットパイプ No. 3Assy に

- ①六角ボルト M8 L=15
 - ②銅ワッシャ
- を取付ける。

(35) ホースφ22を260mmと100mmに切断する。

(36) リリーフバルブ Assy に

- ③ホース φ22 L=100mm
 - ④ホースクリップ φ22用
 - ⑤スリーウェイ φ22-φ19-φ22
- を取付ける。



※(37)～(39) 電子制御スロットル仕様車両のみ

(37) インタークーラーアウトレットパイプ No. 3Assy に

- ①吸気温センサ
 - ②銅ワッシャ
- を取付ける。

アドバイス

・吸気温センサは締付けトルクが大きいと破損する。

締付けトルク N・m(kgf・m)

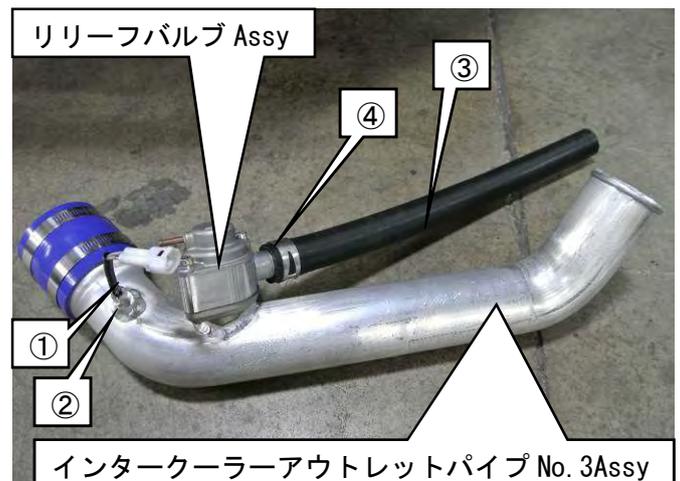
T=10(1.0)

※電子制御スロットル仕様車両のみ

(38) ホースφ22を380mmに切断する。

(39) リリーフバルブ Assy に

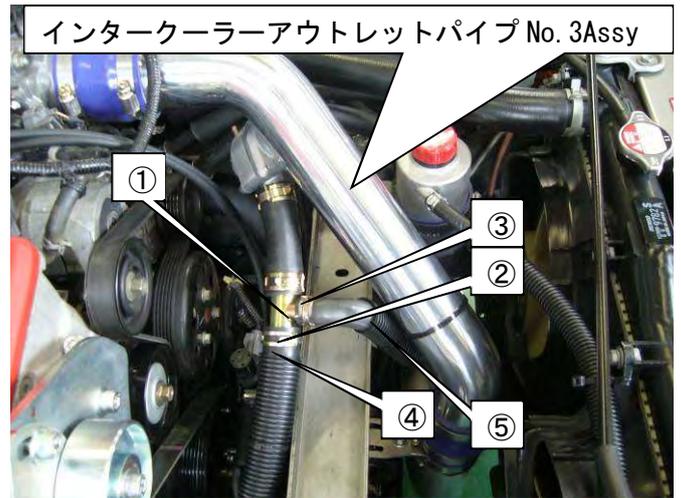
- ③ホース φ22 L=380mm
 - ④ホースクリップ φ22用
- を取付ける。



※(40)～(44)ワイヤースロットル仕様車両のみ

(40) インタークーラーアウトレットパイプ No. 3Assy を車両に仮付けする。

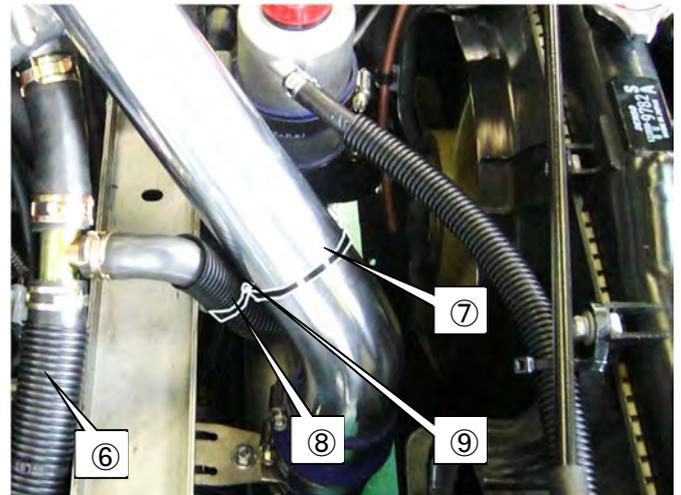
- (41) ①スリーウェイ φ22-φ19-φ22 を
②ホースクリップ φ22 用
③純正ホースクリップ φ19 用
を用い、
④ホース φ22 L=260
⑤純正 2 次エアポンプインレットホース
と接続する。



(42) コルゲートチューブ φ22 用を 210mm に切断する。

- (43) ④ホース φ22 L=260 に
⑥コルゲートチューブ φ22 用を取付ける。

- (44) ⑤純正 2 次エアポンプインレットホースを
⑦タイラップ 大
⑧タイラップ 中
⑨タイラップ 小
を用い、インタークーラーアウトレットパイプ
No. 3Assy と固定する。

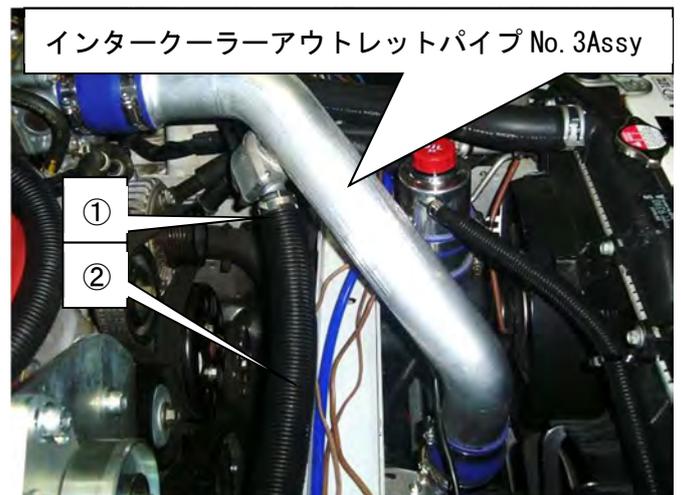


※(45)～(47)電子制御スロットル仕様車両のみ

(45) インタークーラーアウトレットパイプ No. 3Assy を車両に仮付けする。

(46) コルゲートチューブ φ22 用を 380mm に切断する。

- (47) ①ホース φ22 L=380 に
②コルゲートチューブ φ22 用を取付ける。



(48) インタークーラーアウトレットパイプ No. 1/No. 2/No. 3 の位置出しをして、仮付けしたボルト・ホースバンドを本締めする。

アドバイス

- ・取付けたパイプが車両と干渉していないか確認する。

(重点確認部: インタークーラーアウトレットパイプ No. 2×純正冷却水ホース・サスメンバー・スタビライザー間)

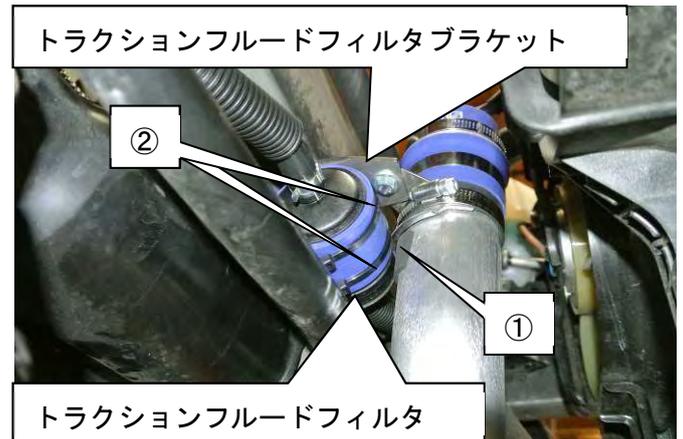
(49) トラクションフルードフィルタブラケットの角度を

図のようにずらし、
インタークーラーアウトレットパイプ No. 3 の
トラクションフルードフィルタの接近部分に
① スポンジシート
を貼り付ける。



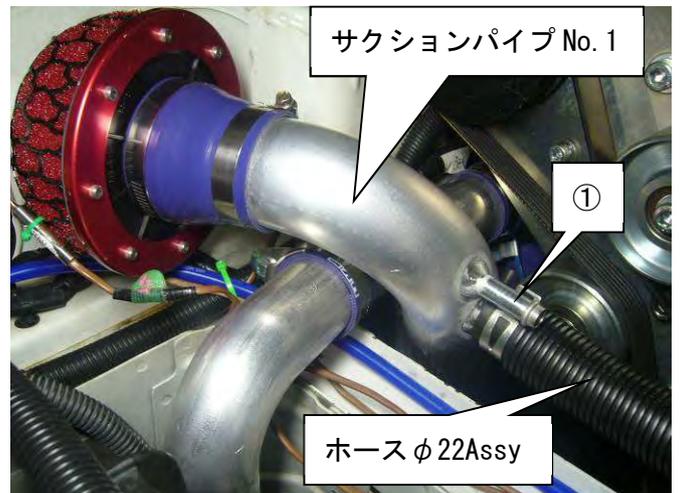
(50) トラクションフルードフィルタを

① タイラップ 大
を用い、
トラクションフルードフィルタブラケットに
固定する。



(51) ホースφ22Assy を

① ホースクリップφ22 用
を用い、サクシヨンパイプ No. 1 に固定する。

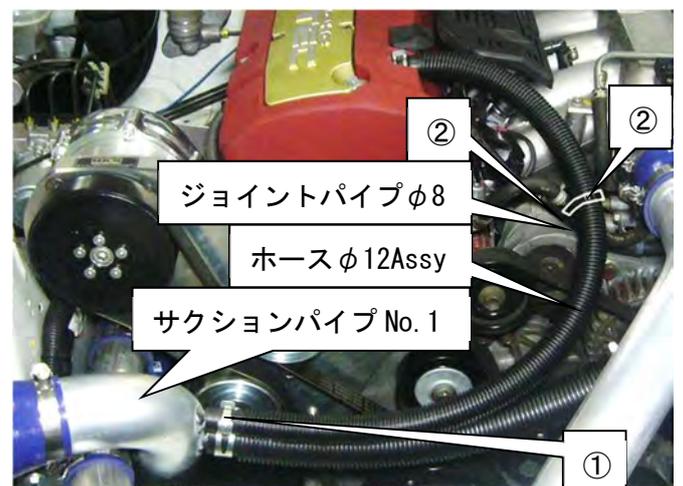


(52) ホースφ12Assy を

① ホースクリップφ12 用
を用い、サクシヨンパイプ No. 1 に取付ける。

(53) ホースφ12Assy を

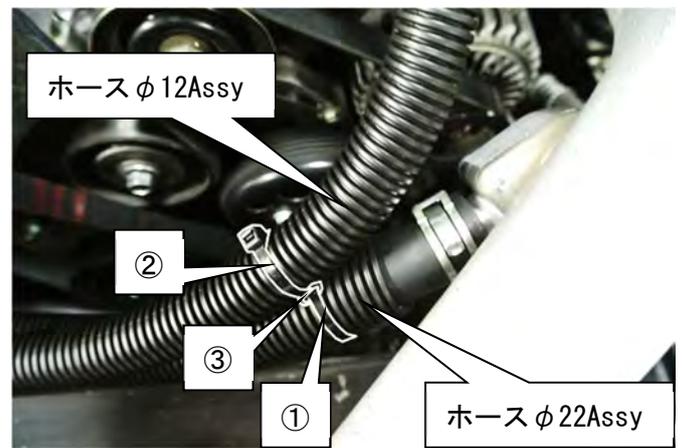
② タイラップ中
を用い、ジョイントパイプφ8 と固定する。



(54) ホースφ12Assyを

- ①タイラップ大
- ②タイラップ中
- ③タイラップ小

を用い、ホースφ22Assyと固定する。



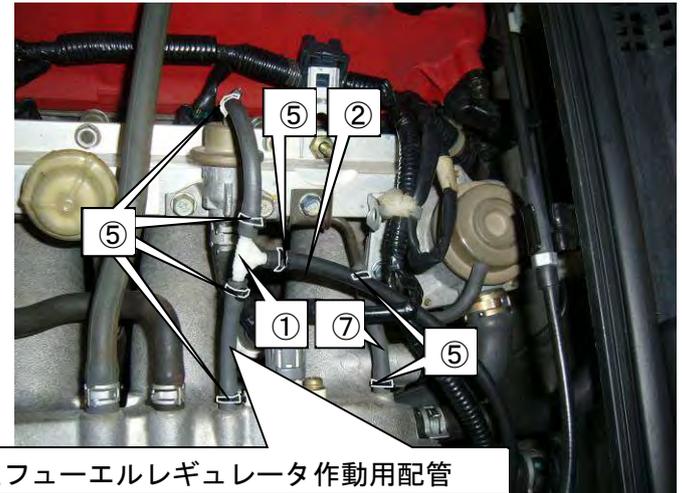
※(55)～(58) ワイヤスロットル仕様車両のみ

(55) 純正フューエルレギュレータ作動用配管を切断し、

- ①スリーウェイ φ4-φ4-φ4
- を接続する。

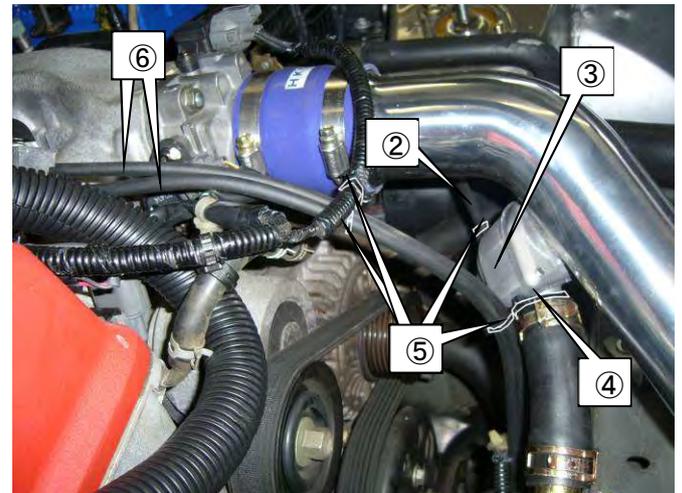
(56) ①スリーウェイ φ4-φ4-φ4に

- ②ホース φ4 L=1000
- を接続する。



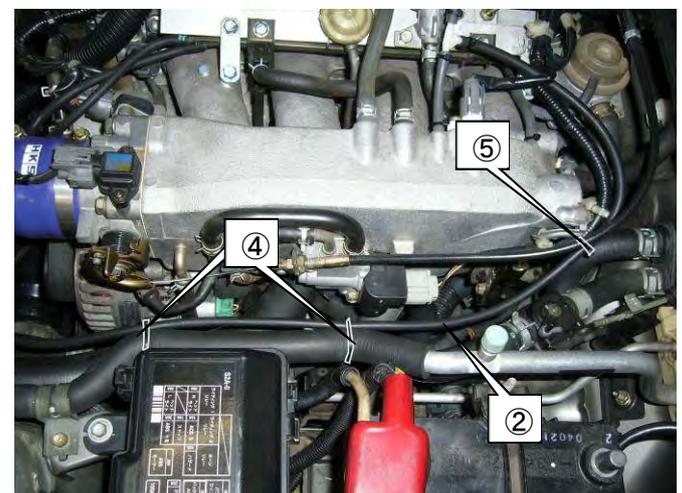
(57) ②ホース φ4 L=1000を

- ③リリースバルブ Assy
- に接続し、
- ④タイラップ 中
 - ⑤タイラップ 小
- を用い、固定する。



(58) ⑥ホースφ4 L=500・

- ⑦純正2次エアコントロール SOL.V. 配管を
- ④タイラップ 中
 - ⑤タイラップ 小
- を用い、固定する。



※(59)～(66) 電子制御スロットル仕様車両のみ

(59) ホース φ8 を 50mm に切断する。

(60) インテークマニホールドから

①純正キャニスタホース
を取り外し、端面から 50mm のところで切断する。

(61) ②スリーウェイ φ8-φ4-φ8 に

③ホースクリップ φ8
④純正ホースクリップ
を用い、
①純正キャニスタホース
ホース φ8
を接続し、
インテークマニホールドに取付ける。

(62) ホース φ4 を 250mm に切断する。

(63) 切断したホース φ4 を用い、
②スリーウェイ φ8-φ4-φ8 と
⑤リリーフバルブ Assy を
接続する。

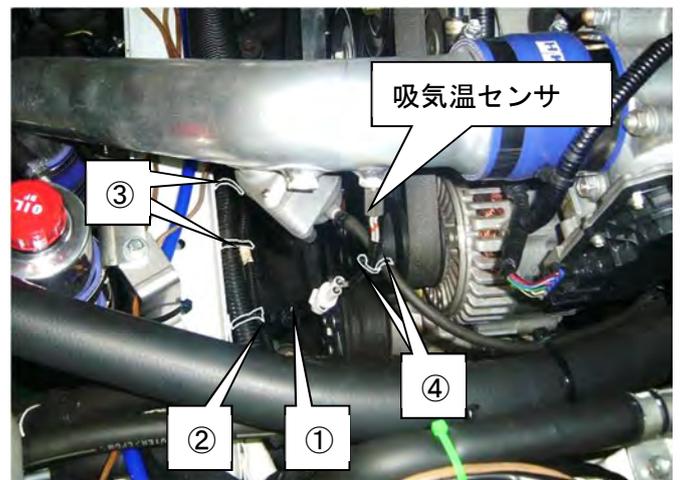
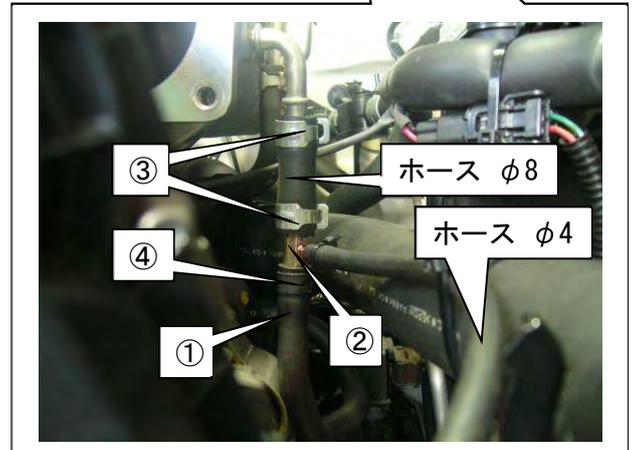
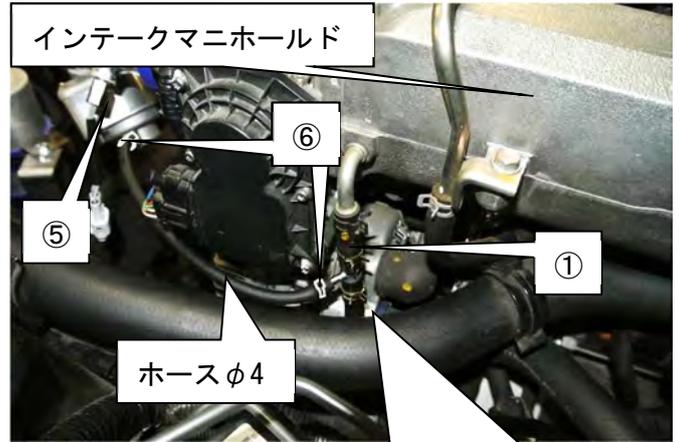
(64) ⑥タイラップ 小
を用い、ホース φ4 を固定する。

(65) 吸気温センサを

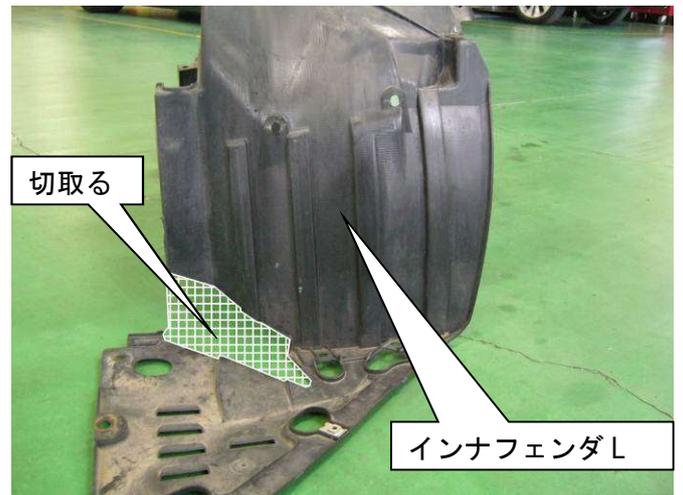
①吸気温センサハーネス
を用い、
②純正吸気温センサハーネスに接続する。

(66) 吸気温センサハーネスを

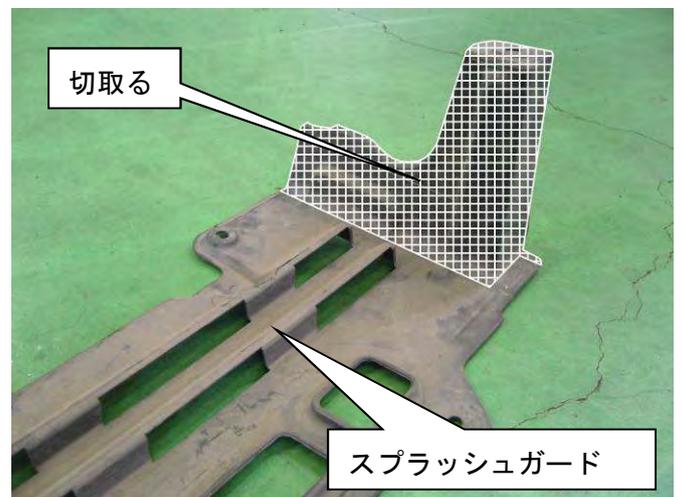
③タイラップ 中
④タイラップ 小
を用い、固定する。



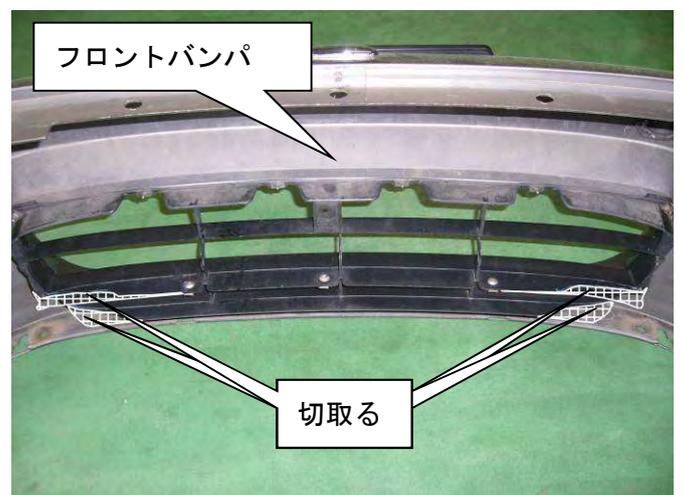
(67) インナフェンダLの図の斜線部分をパイプと干渉しないように切取る。



(68) スプラッシュガードの図の斜線部分を左右共にパイプと干渉しないように切取る。



(69) フロントバンパの図の斜線部分をインタークーラーと干渉しないように切取る。



5. ノーマルパーツ取付け

整備要領書に従って作業を行なう。

- (1) 加工したスプラッシュガードを取付ける。
- (2) 加工したインナフェンダRを取付ける。
- (3) 加工したインナフェンダLを取付ける。
- (4) 加工したフロントバンパを取付ける。
- (5) バッテリのマイナス端子を接続する。

6. トラクションフルード注入

パーツリスト



No.	品名	数量
P4	トラクションフルード	1



注意

スーパーチャージャーAssy の内部構成部品は精密部品です。

トラクションフルードに異物が混入するとスーパーチャージャーAssy が破損します。
トラクションフルード配管の作業中ホースやタンクに異物が混入しないように
作業を行ってください。

- (1) トラクションフルードタンク内に異物が無い事を確認し、トラクションフルードを
図1 ①のトラクションフルードタンク内のリターンパイプの穴位置まで注入してください。

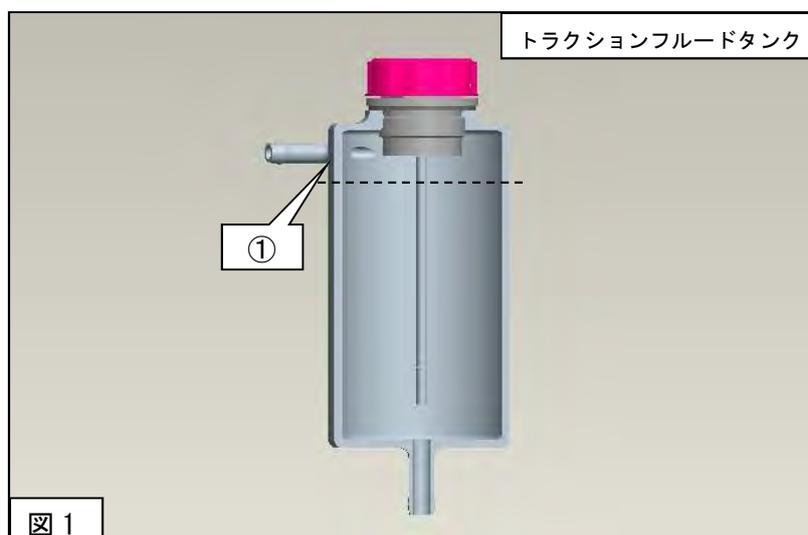


図1

7. 取付け後の確認と、トラクションフルード量調整

本製品を取付けた後、必ず下記の作業を行なってください。

(1) エンジン始動前に下記の事項を確認してください。

	確認項目	確認
1	トラクションフルード配管が正しく行われているか。	
2	トラクションフルードの漏れはないか。	
3	取付けた部品が各部に干渉していないか。	
4	ベルトは張られているか。	
5	プーリーの取付けボルトおよび固定ボルトが確実に締めてあるか。	
6	トラクションフルードがレベルゲージの①マーキングレベルまであるか。(図 2)	
7	ホースにねじれや過度の曲げがないか。	
8	ホースバンドが確実に締まっているか。	
9	ボルト・ナット類が確実にしまっているか。	
10	取付けた部品がしっかりと固定されているか。	
11	ベースとなるセッティングデータは入れられているか。	

(2) トラクションフルードをビーカー等に約 80cc 準備しておき、エンジンを始動してください。

(3) エンジン始動直後、下記の作業を実施してください。

1. トラクションフルードタンクのトラクションフルードレベルが下がり始め、トラクションフルードタンクにトラクションフルードが戻ってくる事を確認してください。
2. トラクションフルードタンク内のトラクションフルードが無くならないよう、無くなる前にビーカー等に準備したトラクションフルードを継ぎ足してください。その際、トラクションフルードタンクからあふれないようにしてください。

アドバイス

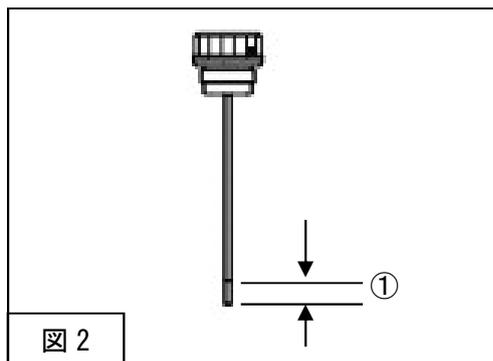
- ・ エンジン始動直後、暖気中にスーパーチャージャー Assy から“ジャラジャラ”といった作動音が聞こえます。これはトラクションフルードが暖まる約 2～3 分後に聞こえなくなるものであり、異常ではありません。

(4) エンジン暖気後に下記の事項を確認してください。

暖気中はエンジンの回転を上げないようにしてください。(アイドル回転)

	確認項目	確認
1	オイルタンクにトラクションフルードが戻っているか。	
2	トラクションフルード、エアの漏れはないか。	
3	ホース類が引っ張られていないか。	
4	部品による干渉音が無いか。	

- (5) 上記項目に異常が無いことを確認した後、エンジン回転数を 2000rpm まであげて 10 秒間維持してください。10 秒経過後エンジンを停止し、トラクションフルードがレベルゲージのマーキングレベル(図 2 ①) まであるか確認し、過不足を調整してください。



※残ったトラクションフルードはトラクションフルードが入っていた容器でキャップをして保存してください。トラクションフルードは特殊な成分により構成されているため、他の容器で保存した場合、成分の変化や容器を侵す場合があります。

- (6) トラクションフルードタンクのキャップを閉める。



株式会社 エッチ・ケー・エス
〒418-0192 静岡県富士宮市北山7181
<https://www.hks-power.co.jp/>